

新
発
売

フラッグシップ・オブ
ジェネシス **FZR750**

ニューエイジ
クルーザー **XV400** ビラーゴ

特
集

話題満載、春一番
スポーツバイク・シーズンいよいよ開幕!



フラッグシップ・オブ・ジェネシス FZR750 新登場

●標準現金価格：849,000円（北海道、沖縄を除く）

●カラー：シルキーホワイト／ファインレッド、シルキーホワイト／ダイナスティブルー



この春のスポーツバイク市場最大の関心を集めて、話題のニューマシン『FZR750』が3月10日より新登場します。

ライダーのハートを熱くする圧倒的パフォーマンス、それを思いのままに操つれる驚異のコントロールビリティ……『FZR750』は、ヤマハ4サイクル・ハイパフォーマンスマシンコンセプト「ジェネシス」の真髄を結集した「YZFレプリカ、

同時にそれは、FZR250、FZR400、FZR750とそろったFZRフォーメーションのフラッグシップとしてクォーターユーザーやミドルクラスライダーにも限りない夢を与えるものです。どうぞ積極的な新発売セールをご展開ください。

FZR750の主な特徴

ジェネシス・コンセプトの中核となる45度前傾・水冷並列4気筒・5バルブDOHCエンジンは、FZR750で高い評価を集めた高性能と信頼性に一段と磨きをかけたもの。

特に、新設計ピストン、ピストンリング、コンロッド等の採用によって往復運動質量は13%も減少。ピストンとシリンダーの摩擦抵抗の減少とあわせて一層シャープでピックアップにすぐれたパワー特性を発揮します。

F1ファクトリーマシン「YZF750」のレーシング・テクノロジーをずい所に投入した『FZR750』、その象徴がF.A.I.（フレッシュ・エア・インターク）の採用です。フェアリング前面に設けられた2個の外気導入孔からエアダクトを通じてつねに新鮮な外気がエアクリーナーに導かれるこのシステムによって、密度の高い空気による混合気の供給が可能となり、吸気効率のすぐれたダウンドラフト型キャブレターと相まって一段と安定した出力特性を生み出しています。

オイルクーリングシステムの採用も、『FZR750』の大きな特徴です。これは、トロコイドポンプによってオイルクーラーへのオイル圧送を行なうもので、オイルクーラーで冷却されたオイルは再びオイルパンに戻されエンジンの潤滑にあたります。

オイルクーラーを装備したこのシステムは、エンジンの潤滑をさらに高効率とするだけでなく、オイル劣化防止にも大いに貢献するものです。

点火装置にはデジタルイグナイター方式を採用。マイクロコンピューターによってコントロールするこのシステムは、回転全域においてエンジンが要求する最適のタイミングで火花をと

ばし、5バルブDOHCのビッグパワーをフルに引き出すものです。

右 後方にカブよくのびた4 into 1マフラー。45度前傾シリンダーがつくり出す広いエンジン前面空間を最大限に生かし理想的に取りまわしたエキパイを集合部で連結したこの排気系によって、排気効率も一段と向上させています。

ア ルミ・デルタボックスフレームは、45度前傾エンジンとともに「乗りこなす高性能、ジェネシスのキーポイントです。

いうまでもなくこのアルミ・デルタボックスフレームは、ファクトリーマシンYZR、YZFで鍛えぬかれたもので「軽量」と「高剛性」という相反要因を最高レベルでバランスさせているのが特徴。とくに『FZR750』では、リヤサスペンションを低位置にセットし、低重心化と前後輪ほぼイーブンの重量配分を実現しています。

フ ロントフォークもまた41φ大径インナーチューブを採用して剛性をアップ。キャスト角は25度20分としシャープなハンドリング特性を持たせていますが、にもかかわらず抜群の操縦安定性を発揮するのは、高剛性デルタボックスフレームとの絶妙のマッチングによるものです。またフロントフォークには、スプリング・イニシャル荷重とオイルダンパー減衰力それぞれのアジャスター機構も装備しています。

広 断面積角型アルミスイングアーム採用のリンク式モノクロスサスペンション。

ブ レーキは、フロントに320φ大径ディスクをダブルでフローティングマウントし、これに対向ピストン4ポットキャリパーを装備。リヤは267φシングルディスクと対向ピストンキャリパーの組み合わせ。まさに最高の動力性能にふさわしい強力なストッピングパワーです。

新 設計の軽量中空スポーク式アルミキャストホイールと偏平ワイドラジアルタイヤも『FZR750』のフットワーク向上に大きく貢献しています。

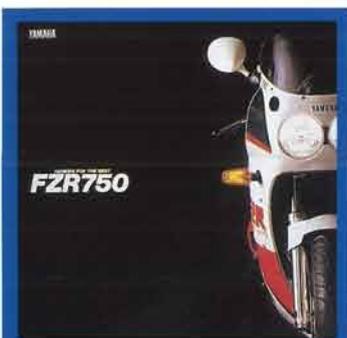
フ レーム・マウントのフルフェアリングは、高速走行時に抜群のエアロダイナミクス効果を発揮。アンダーカウルには、ダクトと遮熱プレートを備え、ラジエターの熱気が直接ライダーに当たらないように配慮しました。

空 力特性の高い新設計の砲弾型バックミラー、レーシーなクリップオン式アルミハンドルポス、ツーリング時に便利な荷掛け用フック……などすみずみまでフラッグシップモデルにふさわしいきめ細かな仕上げを施しています。

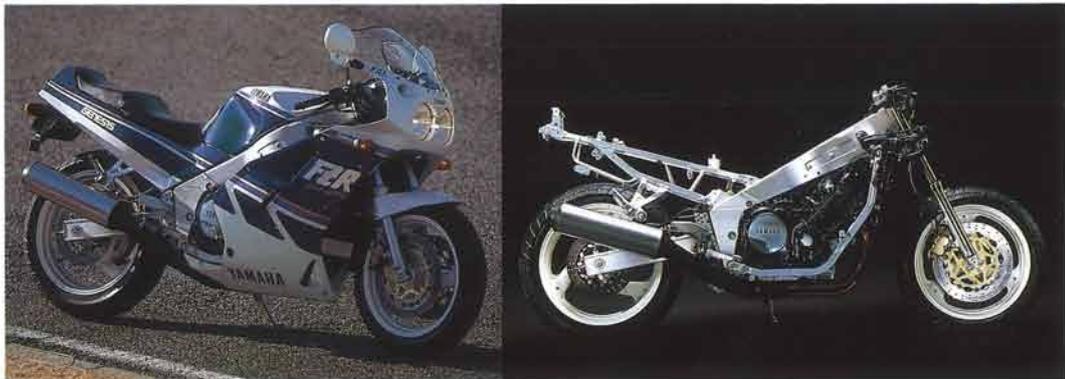


● FZR750仕様諸元

●全長2125mm ●全幅730mm ●全高1215mm ●シート高775mm ●軸間距離1470mm ●最低地上高145mm ●乾燥重量203kg
 ●舗装平坦路燃費42km/ℓ(60km/h) ●最小回転半径3.4m ●制動停止距離14m(50km/h) ●エンジン4サイクル・水冷・DOHC・5バルブ・並列4気筒・749cc ●内径×行程58.0mm×51.6mm ●圧縮比11.2対1 ●最高出力77PS/9500rpm ●最大トルク7.1kg-m/7000rpm ●始動式セル式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●エンジンオイル容量3.6ℓ ●エレメント不織布 ●燃料タンク容量20ℓ ●キャブレタBDS34 ●点火方式トランジスタ ●点火プラグDP7EA-9 ●DP8EA-9、X22EP-U9、X24EP-U9 ●バッテリー容量12V14A ●1次減速(比)ギヤ(1,895) ●2次減速(比)チェーン(2,470) ●クラッチ選定多板 ●変速機リターン式6段変速 ●変速比①2.923②2.187③1.777④1.500⑤1.272⑥1.125 ●フレーム形式アルミ・ダブルクレードル(デルタボックス) ●キャスト25°20' ●トレール99mm ●タイヤ(前)120/70R17 58H(後)160/60R18 70H ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式シングルディスク ●懸架方式(前)テレスコピックオレオ(後)スイングアーム ●緩衝方式(前後とも)オイルダンパー+コイルスプリング ●ヘッドランプ12V45W/45W(ハロゲン、デュアル) ●マーカーランプ12V3.4W ●テールランプ12V5W ●ストップランプ12V21W ●フラッシュャーランプ12V21W



ジェネシス・FZRフォーメーションのフラッグシップ「FZR750」の新発売に当っては通常のカタログの他に●特別限定版カタログ(写真・A3変型判)●店頭用プロモーションビデオ●ポスター3種も用意しました。これら宣伝ツールをフルに活用して、どうぞ高価格帯商品にふさわしいセールストークをご展開ください。



YZR500



信頼の水冷・2サイクル・Y P V S 装備・V型4気筒を、アルミ・デルタボックスフレームに搭載したワールドチャンピオンマシン Y Z R 500。'87シーズンは、高性能ラジエーターと新開発の大型クーリングダクトの採用で冷却効率と空力特性をさらに高めています。

●重量120kg以下 ●最高出力148ps以上 ●最高速度290km/h以上

連覇へ!

'87ヤマハ ファクトリーマシン

昨年は世界GPロードレース500cc、250cc
両クラスのタイトルを独占して、その優秀性
と信頼性を世界に立証したヤマハファクトリー
ロードレーサーYZRと新規開発のファク
トリーモトクロスサーYZM500……今シー
ズンもヤマハ・ファクトリーマシンの活躍に
ご声援ください。

YZR250



水冷・2サイクル・Y P V S 装備のV型2気筒とアルミ・デルタボックスフレームの組合わせて2シーズン目を迎える Y Z R 250。基本構成に一切の変更はなく、エンジンのパワーアップと車体アライメントの変更など一段ときめ細かい * 熟成。を図っています。

●重量100kg以下 ●最高出力78ps以上 ●最高速度245km/h以上



YZM500

新開発の水冷・2サイクル・Y P V S エンジンをモトクロスサーとしては初の軽量・高剛性アルミフレームに搭載した Y Z M 500。飛躍的に向上した戦闘力を500cc世界GPで発揮します。

●最高出力60ps以上

カラートピックス

北・極・点めざして いよいよチャレンジ開始、風間さんとTW改

零下30°の北海道サロマ湖畔での走行テスト、東京での盛大な壮行会、ベースキャンプとなるアラスカ・レゾリュート到着、そして最終チェックとトレーニングの後、3月7日いよいよ北極点へのチャレンジ開始……バイクを駆って北極点踏破に挑戦する風間深志さんとヤマハTW改の計画は順調に進展しています。「時速20~30km、1日50~60km走破、北極点まで55~60日間というのが目標です。それにしてもスノーモビル等を通じて極寒下のノウハウも多いヤマハだからこそ、今回のチャレンジ用マシンTW改もこんなに短期間で完成できたのだと驚いています。TWでとにかくやります。そしてモーターサイクルの可能性を子供達にまで伝えたいと思っています」とスタートを前に、風間さんの意気も大いにあがっています。



1月の下旬にはオホーツクの流氷の中での実験も行なわれた

TW200をベースに改造されたチャレンジ用マシン



●標準現金価格：519,000円(北海道、沖縄を除く)
●カラー：ディーブスカーレット/カメラグリーン

新しいテイストが、新しい需要をつくる

ニューエイジ・クルーザー

XV400

ビラーゴ



より自由に、快適に、パワフルに……ヤマハ・トラディショナル・クルーザーの原点「ビラーゴ・コンセプト」を徹底的に追求した新世代のクルーザー「XV400ビラーゴ」が、3月10日より新登場します。

少しも身構えることなくフリーな気分でまたがれるフラット&ローのプロフィール、スリム&マッチョのコントラストも大胆なボディ・フォルム、シンプル&クリーンな空冷Vツインとシャフトドライブのパワーユニット、そしてメタリック・マテリアルのかずかずが生み出すシックでハイクォリティな質感……「XV400ビラーゴ」は、まさに新しいテイストにあふれたニューエイジ・クルーザー。

ポジションも新鮮なフラットハンドル(2NT)とゆったりとしたブルバックハンドル(2NU)の2タイプを用意しました。どうぞ、より多くのお客さまに「XV400ビラーゴ」で、モーターサイクルのもうひとつの楽しさと味わいをご提供ください。

XV400ビラーゴの主な特徴

シンプルな空冷70°Vツインは、フレームに内蔵した大容量エアクリナーと34φ大径ダウンドラフト・キャブレターによる吸気効率の向上、また2本のエキパイからチャンバーを通り2本のカットオフマフラーに抜ける効率的な排気系の採用等によって、Vツインならではのトルキーなパワーフィーリングと快いエキゾーストサウンドを一段ときわだたせています。

さらに、Vツイン・エンジンならではの造形的な迫力、クロムメッキ・ヘッドカバーや独得のシリンダ・フィンによるクリーン・イメージの強調も、ニューエイジ・クルーザー「XV400ビラーゴ」ならではの特徴。パワートレインもメンテナンスフリーでクリーンなシャフトドライブです。

わずか700mmの超低シート高。トラディショナル・クルーザーの基本形「フラット&ロー、プロフィールをここまで徹底させたのは、シート下下にフェルタンクを、前方シリンダのまじ・フレームの

トップカバー内にエアクリナーを配した独自のレイアウトによるもの。

この配置は同時に、マシン全体の低重心化を促進し36φインナーチューブの高剛性フロントフォーク、31°30'の大きなキャスト角とあわせて、走行安定性と操縦性の向上にも大きく貢献しています。

298φの大径フロントディスクブレーキ

快適でかつ自由度の大きなライディング・ポジションはトラディショナル・クルーザーの絶対条件。

「XV400ビラーゴ」ではハンドル、フットレスト、シートの的確な位置関係を追求して、フラットハンドル、ブルバックハンドルいずれでも自然にマッチするよう設定しています。

スリム&マッチョ、これが「XV400ビラーゴ」のデザイン・コンセプト。スリムで軽快なボディイメージとティアドロップ型トップカバーなど筋肉質のポリウム感あふれるマッチョ・イメージの大胆なコントラストが特徴。XV750ビラーゴと同じ、140/90-15の極太偏平リヤタイヤも、そのマッチョイメージを高めています。

燃料残量警告灯を組込んだシンプルで見やすいメーターパネル

ハンドルスイッチ切替式燃料リザーブ

シリンダ・ヘッドカバー、ヘッドランプケース、メーターケース、チャンバーカバー、リヤブレーキプレート、リヤ・ギヤケース……などずい所にクロムメッキを採用して、高品質感を強調。





■XV400ピラーゴ仕様諸元〔内ブルバックハンドルタイプ〕

●全長2225mm ●全幅725mm〔800mm〕 ●全高1055mm〔1115mm〕 ●シート高700mm ●軸間距離1520mm ●最低地上高160mm ●乾燥重量178kg ●舗装平坦路燃費43km/ℓ (60km/h) ●登坂能力28° ●制動停止距離14m (50km/h) ●エンジン4サイクル・OHC・V型2気筒・399cc ●内径×行程68.0×55.0mm ●圧縮比9.7:1 ●最高出力40ps/8500rpm ●最大トルク 3.5kg-m/7000rpm ●始動方式セル ●潤滑方式:強制圧送ウェットサンプ ●オイル容量3.2ℓ ●エレメント不織布 ●燃料タンク容量8.6ℓ ●キャブレタBDS34 ●点火方式トランジスタ ●点火プラグB P 7 E S、W 22Ep-U ●バッテリー容量12V12Ah ●1次減速(比)ギヤ(2.212) ●2次減速(比)シャフト(3.070) ●クラッチ湿式多板 ●変速機リターン式5段 ●変速比①2.714②1.900③1.458④1.166⑤0.966 ●フレーム形式プレスバックボーン ●キャスト31°30' ●トレール125mm ●タイヤ(前)3.00S19-4PR(後)140/90-15 70S ●ブレーキ(前)油圧式ディスク(後)機械式ドラム ●懸架方式(前)テレスコピックオレオ(後)スイングアーム ●緩衝方式オイルダンパー+コイルスプリング(前後とも) ●ヘッドランプ12V60W/55W(ハロゲン) ●マーカーランプ12V3.4W ●テールランプ12V5W ●ストップランプ12V21W ●フラッシュランプ12V21W

◀フラットハンドル・タイプ/ディーブスカーレット



▲ブルバックハンドル・タイプ/カメラアグリーン

ヤマハニュース 3

1987 NO.285 もくじ



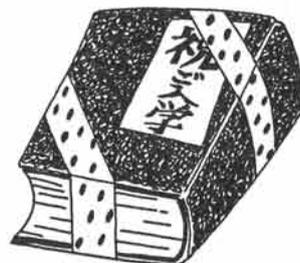
- ★ニューモデル・カラーご紹介
- フラッグシップ・オブ・ジェネシスFZR750..... 2
 - '87ヤマハ・ワークス・マシン..... 4
 - ニューエイジ・クルーザーXV400ビラーゴ..... 5

- 特集 話題満載、春一番**
スポーツバイク・シーズンいよいよ開幕!
- 完成! FZRフォーメーション、トータル・パワーで市場拡大..... 8
 - ニューSRXにXV400ビラーゴも登場して
テイスティ派も元気いっぱい..... 10
 - いよいよ盛況、チャレンジ3000キロ
3000キロ完走! はやくも出現..... 12
 - 各地で人気 '87新春ヤマハ・チャンピオンシップ・カーニバル..... 14
 - '87ヤマハ・ワークスライダー..... 15

- 今日も元気な販売店さんの声
YAMAHA NEWS CLUB..... 16
- フォロー・ザ・トレンド/仕掛人が語る若者たちは、いま
いまコンビニエンスストアは、
若者の最も身近な遊び場になった..... 17
- YAMAHA NOW マリーンジェット..... 20
- お忙しい販売店さんのための情報アンテナ
情報スクランブル..... 22
- ニューモデルのお客さま NEWセロー225..... 24
- ヤマハ・トピックス..... 25
- インフォメーション・フロム・ヤマハ..... 30
- Y.E.S.S.クラブ通信..... 32
- お店訪問・こんにちはヤマハです..... 34
- パーツ&アクセサリーズ..... 36
- ザ・レイティスト・アド..... 38

セールス・カレンダー 3~4月

3月		27金	
	弥生	28土	
8日	国際婦人デー '87デイトナ200マイルレース スズカBIG2&4レース 全日本トライアル 第1戦(熊本)	29日	
9月		30月	
10火		31火	
11水		4月	
12木		卯月	
13金			
14土		1水	
15日	全日本モトクロス第1戦(桶川)	2木	
16月		3金	
17火		4土	
18水	彼岸入り	5日	全日本モトクロス第2戦(九州)
19木		6月	
20金	動物愛護デー	7火	
21日	春分の日		
22日			
23月	世界気象記念日		
24火	彼岸明け		
25水	電気記念日		
26木			



セ
ー
ル
ス

歳
時
記

卒業、就職、進学、転勤……3月の中旬から4月にかけては、1年中でも最も人の動きのはげしい時期。キメ細かい配慮で、新しいお客さまとのコミュニケーションの糸口をつかむにも絶好の時期といえそうです。また事業などでは年度末特有の需要も発生する時期、メイトユーザーの再確認も、ぜひ実施したいものです。

4月には学校やビジネス界のお正月。満ちあふれるお祝いムードを逃さずに拡販活動もフルスロットルでいきたいもの。

4月下旬からはゴールデンウィーク。お客さまとの遊びのプラン、Y.E.S.S.の活動計画……今年こそはちょっと視点を変えたユニークなプランを立ててみてはいかがでしょうか。

集 話題満載、春一番

特 スポーツバイクシーズンいよいよ開幕!

陽春3月、いよいよ本格的なスポーツバイクシーズンの幕開けです。
「FZR750」の登場による「FZRフォーメーション」の完成、ニューエイジ・クルーザー「XV400ピラゴ」によるティス・ティスポーツ市場の活性化。また「チャレン

ジ3000キロキャンペン」のにぎやかなイベントのかすかす、さらに世界選手権レースの相づく開催で例年にも増してもり上がるモータースポーツ人気……このように商品面でも、周辺の遊びや情報の面でもこれまでになく多彩な話題に色どられているのが、こ

の春のスポーツバイク市場です。
さあ、みなさまのお店では、これらの話題をご商売にどう活用されますか? 商圏やお客さまにあわせた効果的な活用で、春一番の商戦をどうをテックカクもり上げてください。

き足まわりで、スーパースポーツを主張している(フランスの専門誌「モトジャーナル」776号)

テーマを絞った試乗——それがFZR拡張のポイント

トラックシップ「FZR750」のイメージをフルに活用して、FZR3モデルのより強力な拡張活動を計画中のお店も少なくはありません。「FZRシリーズは、どれも自信を持ってお勧めできるモデルだから……」という「株モーターサイクル・ドクター須田」須田高正社長もそんなお1人です。

完成! FZRフォーメーション トータルパワーで市場拡大!

「FZR750」の登場でついに完成したヤマハ4サイクル・パフォーマンクスシリーズ、ジェネシス「FZRフォーメーション」。
「FZR250」「FZR400」が、それぞれのクラスで、ホットなレーサーレプリカユーザーの圧倒的な人気を集めていることは、みなさまご承知のとおりですが、この人気に一層の拍車をかけるのが、このフォーメーションの完成。トラックシップ「FZR750」やF1レーサー「YZF750」の話題は、そのまま250cc、400cc市場の活性化にもつながるのです。まさにトータル・パワーで市場拡大! というわけで、ここではFZRフォーメーションの最新の話題を集めてみました。

欧米のマニアに強烈な インパクトを与えた 輸出モデルFZR1000

国内市場のフラッグシップ「FZR750」よりもひと足早くデビューし、欧米のエンスージャストに強烈なインパクトを与えたのがIFMAショー等で「FZR750」と同時に発表されたシリーズ最大排気量モデル「FZR1000」。

まずはそのホットな反響を日本とフランスの専門誌の試乗記からご紹介しましょう。

「1000ccというビッグバイクを、まるで手足のように操れる面白さを見せてくれるFZR。それはまぎれもなく、FZRの高いトータルバランスがなせるワザといえる。とくに十分な剛性をもったフレームと、十分にセッティングされた足まわりによるところが大きい。(中略)



内外の専門誌を賑わすFZR1000

ベントツではないが、いつでもシャシーはエンジンより勝る。バイクもそんなポリシーで造る時代に突入した、と実感させられる。

(「モーターサイクリスト」3月号)
「この美しいヤマハFZR1000は、スーパースポーツであることの主張を、もはやパワーだけに頼ることはしていない。それでもなお、その排気量ゆえの威力、アグレッシブなボディと注目すべ



「FZRシリーズ拡張のポイント」は「試乗」と話す須田社長(中央)とスタッフのみなさん

'87YRSサーキットラン開催予定

レーサーレプリカのお客さまの人気を集める*YRSサーキットラン。コース、'87年はレディスクラスも新設し、全国6会場で以下の日程で開催されます。

〔ヤマハコース〕

3月22日、4月5日/19日、5月31日、6月14日/21日、7月5日/19日、8月23日、9月6日/20日、10月11日/25日、11月1日/8日

〔スポーツランドSUGO〕

4月22日、5月9-10日/13日/14日/25日/27日、6月3日/9日/10日/16日/17-18日/20-21日/27日、7月1日/2-3日/13日/15日/19日/29-30日、8月5日/6日/8-9日★、9月1日★/2-3日/15日/22-23、10月4日/7日/8日/14日/19日/21-22日/31日

★印レディスコース

〔筑波サーキット〕

3月30日、4月27日/28日、5月18日、6月29日/30日、9月28日、10月26日/27日、11月16日、12月14日-15日

〔北海道スピードパーク〕

5月12日、6月9日、7月14日、9月1日

〔中山サーキット〕

10月7日

〔西日本サーキット〕

6月7日、11月15日

須田社長のお話にもあったSPクラスやF3クラスなどのレースでの活躍もFZR拡販には欠かせぬ話題です。

不可欠なモータースポーツ情報 早くも大活躍のFZR250

「いいですか、3速でスタートしてみてください。ほら全くスムーズでしょ」というわけでお客さまはFZRの強烈なトルクをより印象深く実感されるわけなんです。この春はぜひ3モデルそろった試乗の機会などもつくりたいですね。」

「うちでは、FZR400でF3レースにもずっと出場していますが、もちろんこうした活動をFZRの拡販にフルに活用しています。しかし、やはり一番効果的なのは試乗。お客さまご自身に、ジェネシスならではのトータルパフォーマンスを体験していただくことですね。でも、この場合も単に試乗していただくだけでは期待薄。こちら側から確認して欲しい具体的なポイントをお客さまにアドバイスして乗ってもらいます。」

そんな折しも折、大柄なボディとピュア・レーシーなスタイル、そして軽快な操安性で人気を集めるFZR250が、



FZR750



FZR400

らふた月足らずの「FZR250」が、早くも17台も登場。2組に分かれての予選を経て西コース10周にわたる決勝を行いました。なんと「FZR250」が、1位から4位までを独占して、ファンの話題をさらってしまったというわけだ。

堂々のデビューレースウインを飾り、隠れ、脱レーサーレプリカ(「ザ・バイク3月号」などといった形容も表われるほどのズバ抜けた乗りやすさの裏に秘められた戦闘力の高さを立証しています。このレースは、1月25日、鈴鹿サーキットで開かれたサンデーオートバイレース・SP250Fクラス。99台ものエントリを集めたこのレースに、新発売か



FZR250

1月25日、デビュー戦の鈴鹿サンデーオートバイレースで優勝を飾った東村伊佐三選手(スポーツショップISHII)とクルーのみなさん



ニューSRXにXV400ビュラーゴも登場して、テイステイ派も元気いっぱい

この春のスポーツバイク市場が例年以上に活況を呈しているのは、FZRフォアメーションの完成などによってレーサーレプリカ派が元気いっぱいばかりでなく、2月のニュー「SRX600/400」の登場でテイスト派ユーザーの話題も大いに盛り上がっているからです。

そんな折しも折り、昨年に87輸出モデルとして専門誌に紹介され、ファンから「国内デビューも」の声があがっていた「XV535」の国内モデル、ニューエイジ・クルーザー「XV400ビュラーゴ」も新登場、お客さまたちのヒトミも然輝きを増しています。

所有感のあるモデルを長く大切に乗りたい

昨年もレーサーレプリカ全盛の自動車市場の中でつねにトップクラスの販売実績を収めつづけた「SRX600/400」の例を引くまでもなく、走る楽しさと持つ喜びを満喫させてくれるモデル、いつまでも色あせることのないロングライフなモデル、しかも購入価格もリーズナブルなモデル……といったテイステイスポーツを求めるユーザーは、着実に増えてつづけて、いまや完全に独自のマーケットを形づくっています。

そんなテイステイ派のユーザーにとってちよびりシヨッキングなこの春、胸おどるモデルがふたつも前後して登場するので、代り意欲も大いに湧こうというものです。

中型免許の取得と同時にSRX400に乗り始めて1年半という池亀孝一さん（東京都港区・26才）もそんなお1人。さつそく池亀さんに「XV」への期待をうかがってみました。

「ひとつのモデルと長くつき合いながらより広く深くモーターサイクルの楽しさを追求してみたい、と思ってSRX400に乗り始めたのですが、XVはひと目でエンジンが好きになってしまいました。造りがとても美しいですね。回転が上がればいい……というエンジンじゃなくて、見ているだけでうれしくなってくる、メカニカルな感じなんか本当にゾクゾクしてしまいますね。」

ニューエイジ・クルーザーについてどうですか？　「そういえばいままでのアメリカンとはちがった明るいイメージなのもいいですね。こんな所有感のあるバイクを、長く大切に乗りたいたい、というのはライダーなら誰れしも考えることじゃないですか。レーサーレプリカのような走り一直線の楽しさもなく、このXVやSRXのような乗る人の趣味やライフスタイルに合わせた付合ひ方のできるバイク、というのには、やはりひとつの到達点だと思いますね。」



「持つ喜びを味わわせてくれるバイクを長く深く楽しみたいから……」とSRX400で大都会のバイクライフを楽しむ池亀さんと「YSP専任」高橋主任（右）

XV400ピラーゴ

この春は、ニューザー層の拡大を!

大都市・東京のド真中を通勤に、レジャーにSRX400で毎日走りまわる池亀さんにとっても「XV」は大いに乗車意欲そそられる様子。池亀さんのそんな姿を見ながら――

「レーサーレブリカのように身構えなくとも乗れて、やさしく疲れないポジションのモデルの登場を以前から期待していたんです」と語るのは、東京の渋谷、港目黒、中央などの地域を商圏に幅広いスポーツバイク販売を展開する「YSP恵比寿」高橋通彦主任です。

「85年4月のSRX600/400の登場のときも2輪を卒業して4輪に移っていったアダルトライダーをずい分呼び戻したのですが、このXV400ピラーゴは、その再現を大いに期待できそうです。この造り込みの良さなら400ccで十分、大型二輪免許を持つ彼らの所有感も満足させられますよ」

お店の場所柄、ファッショナブルな都会のクルーザーとしてヤングアダルトに、またフリーなツアラーとしてアダルトに、と高橋主任はSRX以上に幅広いアプローチを期待されているようです。

「そうですね。400ccとは思えぬフォルム、デザイン、仕上げの良さ。これまでのアメリカンとはガラリと変わったファッショナブルなイメージ。やはりフリーな気分、オシャレに乗れるアーバン・クルーザーといった面をアピールしていくことになるでしょうね。」



昨年に87輸出モデル、XV535として発表されて以来テスト派ライダーの大きな期待を集めていた「XV400ピラーゴ」もいよいよ登場

ハンドルも2タイプなら、おとなしい人からスポーティな行動派まで、ヤングアダルトからアダルトまで、相当幅広く売り込めると思えますよ。明るいいメージですから「そろそろレーサーレブリカを卒業しようか……」なんていう人にもぜひ勧めたいですね」

——と「XV400ピラーゴ」によるこの春のご商売の幅の拡大に、大きな期待を寄せています。

●スポーツバイク需要創造キャンペーンも実施!

バイクは、心の新大陸。 YAMAHA SPORTS BIKE



魅力の新商品の相つぐ発売、参加して楽しむ身近なイベントの開催、もりだくさんの遊びや情報の提供……こうした活発な活動の一環としてヤマハでは、この3月から長期的な視野に立ったスポーツバイクの需要創造キャンペーンも展開します。

これは「バイクは、心の新大陸。をスローガンに、スポーツバイクがつくるヘルシーでアクティブな暮らしの広がり」を年代や性別をこえて、より幅広くアピールしていくものです。

その第1弾として3月からは『ブルータス』(3月15日号)『週刊プレイボーイ』(3月18日号)『アンアン』(3月20日号)『ホットドッグプレス』(3月25日号)の雑誌広告を展開。同時に朝日新聞・全国版を通じての新聞広告、『ON AND OFF』『月曜ロードショー』でのテレビCMと……多彩なメディアをミックスしてより多くの人にすばらしいスポーツバイクの世界を訴求します。お店でも、このスポーツバイク需要創造キャンペーンを、ご商売にフルにお役立てください。



はいよいよ盛況、チャレンジ3000キロ はやくも出現、3000キロ1番乗り！

「エブリタイム・バイクタイム」を合言葉に展開されている「ヤマハ・セールスプロモーション活動の柱」チャレンジ3000キロ。キャンペーンも1月1日のスタートから2カ月が経過、各地の販売店さんの店頭では「3000キロ、一番乗り！」のお客さまの出現がはやくもにぎやかな話題を集めています。

自分なりのプログラムや企画で楽しむお客さまたち

静岡県清水市の「バイクショップ・ガンバ」さんでも、この2月28日に、武田英生さん、17才が、エントリーからひと



「ガンバ」さん。お客さまが来店する「ガンバ」さん。平井社長（左から2人目）のチェックの後、お客さまが自分で達成グラフにその日の走行距離を記入する。『他の人の走行距離が気になって、わざわざ見に来ることもあるんです』というお客さまもいる



「チャレンジ3000キロで、お客さまの輪をどんどん広げます」と意欲的な平井社長

月足らずで3000キロ一番乗りを達成。いま店頭ではお店のクラブ、チーム・ガンバを中心に、その話題でもちきり、さっそく平井康正社長にうかがってみました。

「チャレンジ3000キロは、1月のスタートと同時にクラブのメンバー20名がそろってエントリー。その後彼らからのくちコミで一般のお客さまにも急速に広がっています。」

そんな折しも折り、武田さんが「3000キロ走っちゃったヨ！」って来店されたときには本当に、あまりの早さに私自身がビックリしてしまいました。

でもクラブ員の話の聞いてみるとナルホド納得。みんな1人1人が自分で3000キロ達成のプログラムや企画を組みながら楽しんでいるんですね。そんな中で「仲間の誰よりも早く3000キロを

走ろう！」を目標にしたのが、武田さんだったというわけ。ツーリングに行く人も、通勤やレジャーだけのお客さんもそれぞれの方法で参加して楽しめるチャレンジ3000キロ。遊びに敏感なヤングには、最高の材料ですね」

お店でも独自の企画で
お客さまをフック

また特にご商売の面からこのチャレンジ3000キロを考えた時、「これまで以上にお客さまのフックが大切」と平井社長は強調されています。

「このキャンペーンの基点はうちの店なんだという意識をしっかりと植えつけておかないと、エントリーしただけでその後の来店促進効果ゼロなんてことではいけませんからね。」

そこでうちでは、テッドヒートポスタ

いっしょに参加して楽しむ楽しみ
走りが出ても

新鮮になつてきた

一方、「3000キロ」という共通の目標に向かって、それまでとはガラリと変わった新鮮な気持ちでバイクを楽しむ出した参加ユーザーの声はどうでしょう。ひときわ元氣な女性ライターを代表して東京



店内カウンターはまさにチャレンジ3000キロコーナーの雰囲気。達成グラフがまっ先に目にとび込んでくる

以外にも参加したお客さまにご自分で記入していただく「達成グラフ」を店内に掲示したり、完走プレミアムトレナーの他にも店独自の完走賞も出して盛り上げていきます。

それと、いままでの店のツーリングなどのイベントをすべて「チャレンジ3000キロ」の一環として開催していきま。誰でも、いつでも参加できる企画です。誰でも、いっしょに参加できる企画ですから、あまりなじみのなかったお客さんも、これを機会にどんどん引き込んで輪を広げていきたい、その面でも最高の企画ですからね」

都賀江市のOL・仲村幸枝さんにかがいました。

「ヤマハさんよくぞ気づいてくれました。という企画ですね、このチャレンジ3000キロは。だって私がYESです」



バックアップ・メニューも 好評実施中!



Y.E.S.S. スノモ&スキーツアー

- 実施：3月19日(火)~21日(出) [第2回]
- 締切：3月5日



Y.E.S.S. バイクフォトコンテスト

- 締切：3月31日
- テーマ：16才以上「マイ・バイクライフ」
16才以下「ボクの好きなバイク」



Y.E.S.S. りんごの木オーナーキャンペーン

- 募集期間：4月20日まで



Y.E.S.S. ジェットツーリング・イン・沖縄

- 実施：4月11日(出)~13日(月) [第2回]
- 出発地：東京、大阪、福岡 (いずれも定員
になり次第締切)



Y.E.S.S. ウォーミングアップ・キャンペーン

- 実施期間：4月30日まで

※各メニューとも専用告知ツール等を用意いたしました。
詳細は担当セールスマンにお問合わせください。



「目標があるからTZRでの走りがとっても楽しくなりました」と仲村さん

スタッフになってから参加したイベントは、フィスコのサマーフェスティバルだけ。お勤めもあるしいイベントといってもほとんど参加できないんです。
ところがチャレンジ3000キロなら、エントリー後は毎日バイクに乗っているだけでも参加していることになるんですから、こんなに身近かで、無理のないイベントなんてありませんよね。なにかココ

克明な記録で3000キロ の楽しみを倍増

「チャレンジャーの卵みたい。おかげで毎日バイクに乗ることがとっても楽しくなりました」
では一体、彼女にとって3000キロという距離はどんなイメージなのでしょう?
「手頃な距離ですね。私は85年の6月に

中型免許をとってすぐSRX250を買ったのですがSRXの時も1年で6000キロ走った。だから3000キロは半年だな、なんて思っています」
ショッピングや友人の所への訪問、月一回のツーリングが平均的ペースとおっしゃる仲村さんはまた、いかにも女性らしい工夫をこらして自分なりにこのチャレンジ3000キロを楽しんでいます。
「ただ3000キロ走破、じゃつまりませんからね。3000キロの克明な記録をYESのツーリングノートにするしながら楽しんでいきます。女の子ってこんなことでも好きなんですよ。同じ距離走っただけでも思い出がぜんぜん違いますからね、楽しいですよ」



「チャレンジ3000キロのおかげでツーリングの距離や回数もグッと増えそう」

このようにエントリーしたお客さまたちも、それをバックアップする販売店さんも、さまざまに工夫をこらしてもり上げているチャレンジ3000キロ・キャンペーン。スポーツバイクシーズンの進展とともに、全国の店頭から、にぎやかな声が聞こえてくることでしょう。



3000キロ走破の過程はY.E.S.S.ツーリングノートに克明に記録。いかにも女性ライダーらしい几帳面な楽しみ方

広い会場も終日ごらんのとおりの盛況ぶり (つま恋)



ヤマハ・ライダーに会った!

ワークス・マシンに触わった!

5会場にのべ3万人を集めて 87新春ヤマハ・チャンピオンシップ カーニバル開催

FZRフォーメーションの完成によって、また一段と盛り上がりを見せているレーサーレブリカ人気。マシンやファッションはもとより、遊びや情報に至るまでストリートとサーキットの距離はまた一段と縮まっているといえそうです。そうした中で、中国、関西、中部、東

京の各ヤマハ販売会社では、1月17日から2月8日まで、毎週末ごとに持ちまわりので、'87新春ヤマハ・チャンピオンシップカーニバル'を開催しました。

幅広い広がりを見せるモータースポーツファンへのサービスの一環として企画されたこの催しは、平忠彦、C・ラバード、R・モモラ……ら憧れのヤマハライダーと身近かに交流できる機会をファンに提供すると同時に、ヤマハのレース活動やそれを通じて培われた先進技術、またYESSなどの活動をより多くの人に理解していただくというもの。

ステージではヤマハラライダーとファンによるティーチ・インが開かれ、またYZR500/250のワールドチャンピオンマシンをはじめワークスマシンから最新のスポーツモデルまでがずらり並んだ展示コーナー、レースPRコーナー、ヤマハのレース活動の歴史や市販モデルに生かされたレーシング・テクノロジーの紹介コーナー、YESSコーナー、レース関連用品や協賛各社の即売コーナー……など趣向をこらしたコーナーが並ぶ会場には、熱心なファンの熱気が満ちあふれ、ひと足早いスポーツバイク・シーズンの到来にわきかえっていました。

ヤマハOB金谷秀夫氏(右端)の司会でもりあがったティーチイン。ケニー、アゴスチーニ、モモラ、サロン、平、河崎……内外のトップライダーに、ファンの熱心な質問がつづいた



レーシーなライディングウェアのファッションショーも(大阪)

つま恋カートコースでは文字通りの*YSRグランプリ。も開催。ウィマー、ケニー、ラバード、サロン、ポールドウィン、河崎(左から)がYZRと同じカラーリングのYSRでデッドヒートを披露



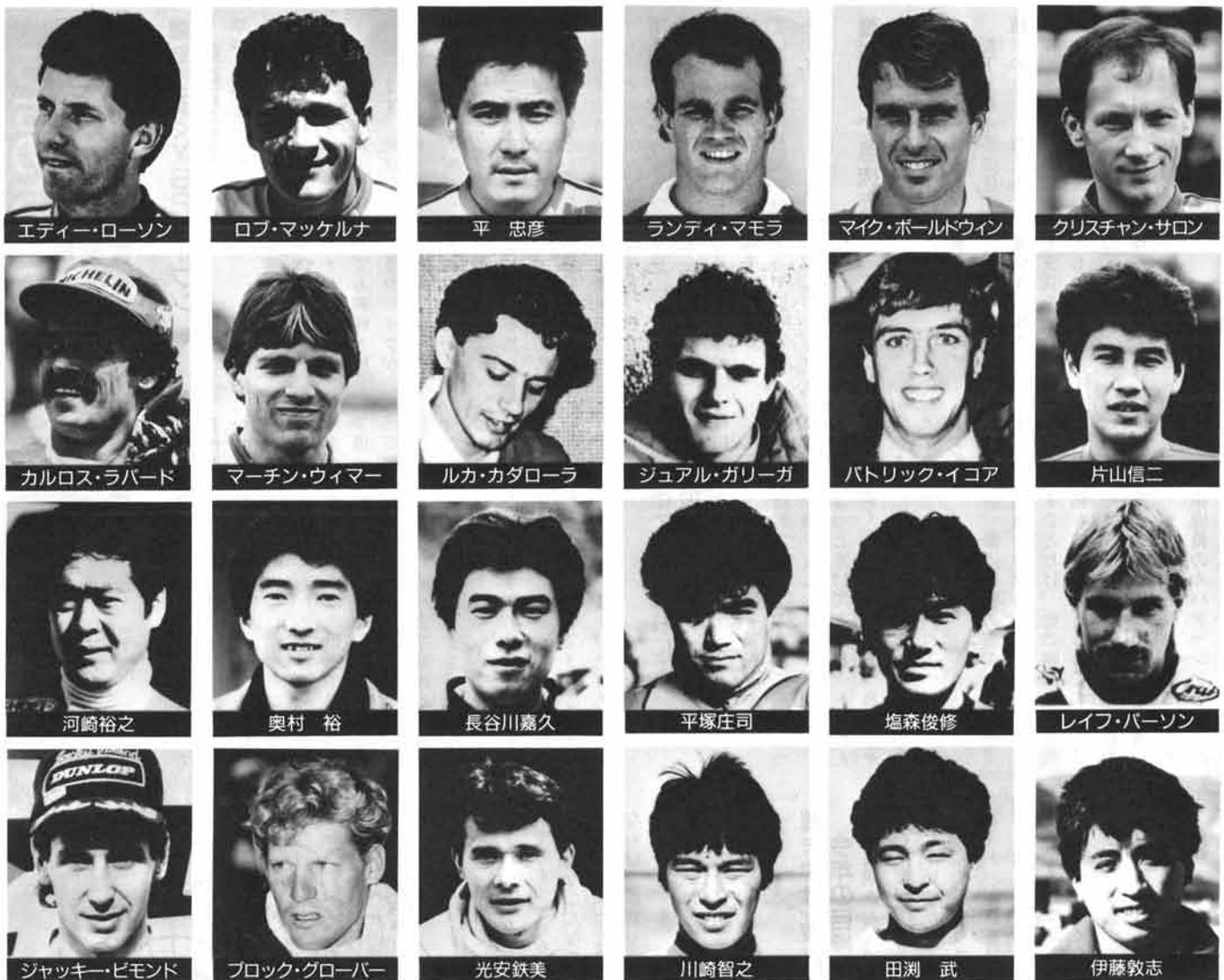
広島、大阪、名古屋、つま恋の各会場では、販売店さんやY.E.S.S.スタッフとヤマハラライダーの懇親パーティーも開かれ大人気を呼んだ

レース場での真剣な表情からは想像もつかないトップライダーたちのこの笑顔(名古屋)

2月8日、1日だけの開催にもかかわらず東京会場には10800人が詰めかけ



'87ヤマハ・ワークスライダー



・ヤマハ・チャンピオンシップ・カーニバル*の開催もあって例年になくホットな盛り上がりを見せている2月のオフシーズン、そしていよいよ3月からは国内外でモーターバイクの主要シリーズ戦が相次いでスタート、まさにスポーツバイク商戦とタイミングを合わせながらの進展となりそうです。そんな中で、こしも世界のモーターバイクの主役をつとめるヤマハは、先頃注目の87年活動計画をつぎのとおり発表しました。このうち、2年連続のダブルタイトルを狙う世界GPロードレースには、500ccに6台、250ccに5台のYZRが出場。また平忠彦選手が、ヤマハ・マールポロチームより待望の500ccクラスにフルエントリーするのが大いに注目されるどころです。今シーズンもヤマハライダーへの熱い声援をよろしくおねがいいたします。

500ccクラス
エディー・ロソン
ロブ・マッケルナ
平 忠彦
ランディ・マモラ
マイク・ポールトウィン
クリスチャン・サロン

250ccクラス
カルロス・ラバード
マーチン・ウィマー
ルカ・カダローラ
ジュアル・ガリーガ
パトリック・イコア
片山信二

125ccクラス
河崎裕之
奥村 裕
長谷川嘉久
平塚庄司
塩森俊修
レイフ・パーソン

125ccクラス
ジャッキー・ピモンド
ブロック・グローバー
光安鉄美
川崎智之
田 潤 武
伊藤敦志

※上野真一(チームレシダ・スポーン)
※町井邦生(S.P.忠男レーシングチーム)
TITF3クラス
平塚庄司 塩森俊修
※印のライダーは、ヤマハのサポートのもとにそれぞれのクラブからエントリー。他はヤマハレーシングチームからYZR500、YZR250、YZF750、YZF400で出場します。

500ccシリーズ
世界選手権モトクロスシリーズ

250ccシリーズ
レイフ・パーソン
ジャッキー・ピモンド
(Y.M.E.N.V.チーム)

125ccシリーズ
ミックヘル・ファントン
ロブ・ヘーリング
(Y.M.E.N.V.チーム)

125ccシリーズ
ジョン・バンベンデルク
ミカ・コウキ
(Y.M.E.N.V.チーム)

AMAモトクロスシリーズ
スーパークロス、ナショナル
500cc/250ccクラス
ブロック・グローバー
キース・ポーター
(Y.M.U.S.チーム)

**スーパークロス、ナショナル
125ccクラス**
ジェフリー・リースク
ジム・ホーリー
(Y.M.U.S.チーム)

全日本選手権モトクロスシリーズ
(Y.M.U.S.チーム)
光安鉄美 川崎智之 田 潤 武
モトクロスは世界GP500ccシリーズのみYZM500での参戦。他はYZ250改、YZ125改でのレース活動となります。全日本モトクロスは、右の3選手がヤマハレーシングチームからの出場。その他に庄司寛、佐々木博幸、天田淳、吉原朋正、鈴木秀明、武田久男の6選手が参加します。グッドとして市販YZで参加します。

世界選手権トライアルシリーズ
ロブ・サートン(Y.M.E.N.V.チーム)
全日本選手権トライアルシリーズ
伊藤敦志

トライアルは国内外ともTY250改での活動。全日本選手権に出場するワークスライダーは伊藤敦志1名で、中川義博、坂口澄男、加藤文博の3選手がサポートライダーとしてそれぞれのクラブより参加します。

うちの店のmotto、 こんな毎日、送っています

お便り
待っています！

もうすぐYSPオープン 頑張ります！

平野真也さん・32才

(ACS丸善整備/千葉県富津市)

3月中旬には隣の木更津市に「YSP木更津」をオープン！ それで今スポーツバイク市場の開拓にとても興味を持っていきます。地域的にスポーツバイクが弱い所。どうも自分なりに考えてみたのですが、遊び方を知らないお客さんが多いのではないかと、結論に達したんです。うちでは以前からYRSに定期参加したり、ツーリングをやったりしているのですが、参加した人たちの意見を聞くと「今までこういったイベントを知らなかった」という人が多いですね。そんな関係で人を集めるのがちょっと大変なんですけど、売った以上は安全に乗しくオートバイに乗ってもらおうと思いい、イベントを数多く盛り込んだ販売活動をやりたいこうと、最高にハリキっているんです。

ゴルフで息抜き 楽しいですよ

関 隆雄さん・38才

(株関サイクルオート/東京都府中市)

都下・府中市の住宅地で販売を始め、親父の代から数えると創業60年。現在は多摩川を越えた多摩市にも支店を出し、今年には販売台数、金額面ともにコンスタントな販売がしたいな、なんて思っています。実はこの仕事の目標に加えてもうひとつ、今年ぜひともやってみようことがありまして――。

学生時代からずっと野球をやっていた、自他ともに認める野球好きだったので、そんな私が最近になってゴルフに目覚めてしまいました。以前からゴルフもやっていたのですが、内容はお付き合程度のもの。ところが先日山梨県のゴルフ場へ出かけたときに、52の46という自己最高のスコアが出て、が然ゴルフの面白さが判ってきた。今までは誘われる立場だったのが、今では誘う立場です。なんかかハーフ40そこそこぐらいで回ってみたいというのが、今年の目標なんです。でも、結果だけでなく、気の合った販売店の仲間たちとプレイができれば、それだけでも十分楽しいですけれどもね。

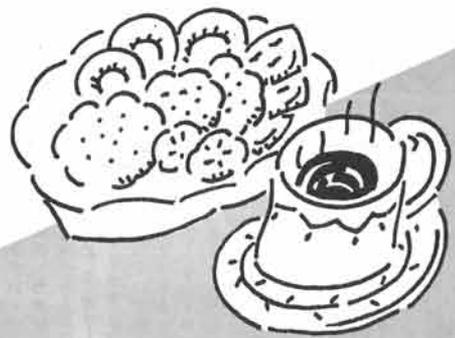
腹話術で子供たちに 安全指導

桜田宣子さん・46才

(桜田モータース/岩手県花巻市)

若い頃はお父さん(ご主人)を手伝って、バンク張りなんかもやりましたが、最近はずっと怠けてますね。お父さんがとても良く働いてくれますし、息子がヤマハさんにこやかにかいになっているので、後を継いでくれるのが判っているからでしょうね。

ですから、最近の私の店での仕事は、もっぱら帳簿をつけることとお客さんにお茶を出すことだけ。他の時間は交通指導員の資格を持っているものですから、近所の幼稚園を回って子供たちに、昔おぼえた腹話術を使って交通安全を指導しています。もう10年も続けているものですから、指導員のオパちゃんとして、近



所でもすっかり有名になってしまいました。そんなこんなで毎日楽しく過していますが、ちょっと希望を言わせてもらえらば、以前やっていた「ヤマハ奥さまセミナー」を、ぜひとも復活させていたきたいと思っています。情報交換ができるので、仕事にも生活にもとてもハリが出るんです。

まずは「彼女」を作るのが 今年の目標かな？

佐野雅明さん・23才

(バイクショップMAX/大阪府大東市)

サービスが中心ですが、小さな店なのでなんでもやっています。将来は自分のオートバイ店を持ちたいと思って夜間大学に通いながらアルバイトをさせてもらっているんです。

父親が、TX650に乗っていたことから、子供の頃からオートバイが大好きで、私もRD250やRZ250Rなど、数台のバイクを持っています。自分で店が持てるようになったとき、

少しでも個性を出せるようにと思いい、2年前からロードレースも始めましたが、今のところ結果はノービス250ccクラスで予選落ち。社長と2人で地道に気軽な毎日を送っています。でも今年こそは予選通過と素敵な彼女を見つけることを目標に、ガンバリたいと思います。ちなみに社長・山本正宏(30才)も独身です。良い人がいたらぜひ紹介してください、2人！

40才にして バイクショップに転身！

服部佳彦さん・44才

(サイクルショップ・ハットリ/名古屋市中)

オートバイが好きで材木屋からオートバイ屋に転身して3年。店の周辺には大型団地が多く、スクーターを中心に売上げも順調、おかげさまで昨年3月にはユースショップになることができました。

スクーター中心の商売ですが、スポーツバイクのお客さんも一人、二人と増え、今では毎月第3日曜日になると、店は休みなのに自然にお客さんが店頭に集まり、ツーリングに出かけていきます。もちろん私もオートバイが好きなので、愛車のFZ750で同行しています。

まるでバンク屋のようにバンク修理ばかりやっている毎日ですが、お客さんや地域にとっても恵まれましたので、この調子で今後もガンバっていきつくりたいです。

普段のお仕事や生活の中の、ちょっとした話題をお知らせください。ご商売に関する事、お客さまにまつわる話題、ヤマハやヤマハニュースに対するご意見ご希望など、どんなことでもけっこうです。写真やイラストも大歓迎です。

●お便りの宛先は

〒438 静岡県磐田市新貝2500
ヤマハ発動機株式会社 広報室・宣伝課



フオロー・ザ・トレンド

仕掛人に聞く、若者たちはいま

トレンド流行

いまコンビニエンスストアは、若者の最も身近かな遊び場になった

■新しいたまり場を
みつけた高校生

かつて、高校生のたまり場といえば、

クラブの部室、学校近くの食品店、喫茶店、あるいは誰かの家といったところが相場でした。

教えあったりしている風景も珍らしくありません。ここは無料の遊び場でもあるといえそうです。

■快適だから集まる

店の内外にたむろしている彼らは、ハンバーガーやスナック菓子など、あまり単価の高くないものを食べています。

最近の子供たちはリッチになったと言われますが、やはり手軽なものに人気が集まっているようです。このように安くおいしく、ボリュームのある食べものが彼らを誘っているのでしょうか。

また、お店の側でも彼らにほとんど干渉しません。他のお客さまの迷惑にならない限り放っておく店がほとんどのようです。

■その他の客も ほとんどヤング層

コンビニエンスストアの場合、普通に買物をしていくお客さまの年齢も、一般の商店と比較するとかなり低いようです。大学生、独身サラリーマン、OLといった感じの人たちが多く、慣れた様子で商品のカゴに入れていきます。

1人用の鍋ものセットやお弁当のようなファースト・フード、ハムや牛乳などの加工食品、冷たい飲みものなど、いずれも手軽に食卓に並べられるものが多いようです。

早朝でも深夜でも、時間にかかわらず、不規則な生活になりがちな学生や若いサラリーマン、OLにとって大変便利なことなのでしょう。

■雑誌の立ち読みも 遊びのひとつ

店内を見ますと、マンガや週刊誌の棚の前に小・中学生はもちろん、若いサラリーマンまでもが群がっています。なかには次から次へと読破するつわものも。本屋さんでは『立ち読み禁止』などという札が立っていたりして落ち着かないものですが、ここでは誰もがゆうゆうとくつろいでいるように見えます。

バイク雑誌をいろいろ読んで、内容を

フロローザ・トレンド

仕掛人に聞く、若者たちはいま

仕掛人

秋山英敏氏

株式会社セブンイレブン・ジャパン
販売促進部広報担当 マネージャー

〈秋山英敏氏プロフィール〉
昭和20年埼玉県生まれ。44年明治大学
経済学部を卒業と同時にイトーヨーカ堂
入社、55年まで婦人衣料の販売に従事す
る。55年より広報担当となり、60年9月
より現職。

『駄菓子屋さん』としても親しまれています。

■コンビニ＝便利

「今や日本の街角で見かけるようになったコンビニエンスストアですが、それは一体どんな店だ? と聞かれると説明できません。定義のようなものはあるのでしょうか。」

「難しい質問ですね、いきなり(笑)。実は定義はないのです。」

そこで言葉の方から説明しますと、コンビニエンスのコンビニというの、便利、という意味なんです。まあ、便利な店、程度に考えていただければいいんじゃないでしょうか。」

「便利さの中身は、というところまでタイムコンビニエンスですね。利用できる時間が長いわけです。そして生活必需品はだいたい間に合うし、すぐ使える。食品はすぐ食べられると。店は住まいの近くにある。こういった便利さが特徴です。」

「最近24時間営業のお店が多いようですね。」

「はい。セブンイレブンの60%は24時間やっています。」

■大型店では満足できない客をフロロー

「最初に11時まで開いてると知った時は、そんなに遅くまでお客がいるのだろうかと思いましたが(笑)」

「第一号店が昭和49年5月の開店。当時はデパートやスーパーはもちろん、一般の小売店でさえ早く朝8時から、夜はせいぜい9時まででしたからねえ。文字通り画期的と言ってもいいでしょう。」

当時、大型スーパーが開店するというと、地元の商店の皆様はたいへん不安を訴えられる。反対運動が起きたりもします。今では皆さんご承知のように、実は

逆なんです。大型店が客を集める、しかしそこでは満足しない人が必ずいる、そういうお客さまをフロローすることで、大型店と小型店は共存共栄していけるわけです。」

「当時のイトーヨーカ堂の役員の仕事は、そういうことを言って地元商店街を説得することだったんですね。で、これは自分たちで見本を作らなくては、と考えていた。ちょうどそんな時に、アメリカでセブンイレブンを見つけたというわけです。」

「はあ、そういういきさつですか。しかし、当時の小売店から見れば、ずいぶんハードな労働条件に思えたでしょうね。」

「ええ。オープンしている時間が長いのですからね。しかし、近代的な、生産性の高い経営形態を導入することでその問題は解決できますし、もうかれば後継者難に悩むこともなくなりますから。」

■客の60%は10〜20歳代

「利用者は若い人が多いんですか。」

「圧倒的に若者層が多いですね。平均で60%が10代と20代、なかには80%に達する店もあります。また男女比は男性6に対して女性4の割合です。」

来店回数は週2〜3回ありまして、朝7時から9時、11時から午後1時、夕方7時から11時の3回です。特に夕方のピークが高いですね。」

来店回数は週2〜3回が最も多く、毎日という人も含めると2〜3割に達します。」

「なるほど。ウワサには聞いておりましたが、すばらしく正確なデータをお持ちのようですね。コンピュータに向かっ



ているような気分です(笑)

「いやあ(笑)、しかし実際にコンビニユー
タの功績なんですよ。店頭で販売時にと
った情報を本部で加工、処理して各店に
戻すシステムがあって、各店では商品別
客層別、時間帯別の売り上げや客数など
10項目の情報を、カラーグラフのデイス
プレイで見ることが出来ます」

「お客さまの年齢は店員さんが見るん
でしようね。」

「もちろん。さすがのコンビニユータもそ
こまでできないようですよ(笑)。この
情報から、おでんのハンペンは何時頃、
タコは何時頃仕込むと良いといった判断
もできるわけです」

■価格よりも便利さ優先

「どういった商品がよく売れているの
でしょうか。」

「セブンイレブンはファーストフードの
売り上げでは日本で2番目なんですよ。
今年の予測で1位のマクドナルドが13
00億、私どもが1040億、3位はケ
ンタッキーフライドチキンで800億で
す」

「ファーストフード専門店と互角の売
り上げなんですな。」

「ええ。ファーストフードは全体の売り
上げの20%を占めております。」

先ほど申し上げましたように、コンビ
ニエンスが支持されているのは、その便
利さなんですな。家の近くにあって、い
つでも買えて、すぐ食べられる。これが
良いわけです」

「価格は大きな問題ではないと……
「そうですね。たとえば、ある日突然友
人が訪ねて来たときです。冷蔵庫を開け

たら飲みものがない。同じ距離の所にス
ーパーとセブンイレブンはある。すると
たいいてセブンイレブンは行くわけです。

スーパーではコカ・コーラの1ℓを27
0円から280円で売っており、セブン
イレブンは300円であるのに、です。
なぜかという点、スーパーのコーラは
常温なんです。いっぽうセブンイレブ
ンでは冷蔵庫に入れてあります。1ℓサイズ
ですと、冷えるのに2時間位かかります
からね。すぐ飲めるセブンイレブンのコ
ーラの方が便利だということになります
でしょ。」

普通の主婦でしたらスーパーで買って
20円なり30円なりを節約するのでしょ
うが、若い人の場合は価格より便利さを優
先するようですね」

■難しい商品の絞りこみ

「どのお店もあまり大きくありません
から、陳列商品の選択は大変でしょうね。
「そうですね。商品の絞りこみは非常に難
しい。たくさん置ければ楽ですけど。と
ころがお客さまが買いたい物を逃がさず
に絞りこんでいく、これが難しいんです。」

TVCFも斬新、多くのヤングの心を
とらえている(2年前に話題を呼ん
だ「ケイ子さんのいなすし」編)



たとえばおにぎり。おかか、しゃけ、
たらこなどの人気は変わりませんが、シ
ーキンですとか、しゃけ入り辛子マヨ
ネーズだの、焼肉入りだのというのがま
たく売れるんです。年配の方だと名前
を見ただけで手をひっこめそうですね。
若い人にはこれが喜ばれるっていうこと
を見逃しちゃいけないわけです」

他にも商品の移り変わりで面白い現
象はありますか。
「象徴的なのは整髪料ですね。私達の頃
はそれこそ石けん髪を洗ってたんです
が、やがてシャンプーになり、シャンプー
とリンスになって、今は何だか泡のや
つでしょ(笑)」

逆にオープン以来変わらないのがロー
ソク、マツチ、ヒューズ、乾電池等の緊
急用品。昨年、神奈川県下で台風のため
3日間停電した時や、仙台の方で水害が
あった時など、全店営業しましたので、
お客さまから大変感謝されました」

■便利さは定着、次は味や鮮度の欲求

なるほど、単に若者にうけているだ
けではないのですね。
「もちろんです。当初から若者向けをね
らっていたわけではなく、便利なものを
揃えたら、結果として若いお客さまが多

くなつたということなのですから。
また、今は長時間営業、年中無休は当
たり前のことになってしまいましたから、
お客さまの次の欲求は、食べものなら鮮
度や味、雑貨の場合はファッショニ性、
そして子供たちからは即時性(CMで流
れた商品がすぐ買えるかどうかという意
味です)」ということになりました」

雑誌の立ち読みが自由なもの若者に
とってはうれいことだと思わんですが、
あれは特に指導なさっているのですか。
「指導というようなことはしていません。
ただ、お客さまはみなご近所の方なんで
すから、つつけんどんにははいけません
んというアドバイスはします」

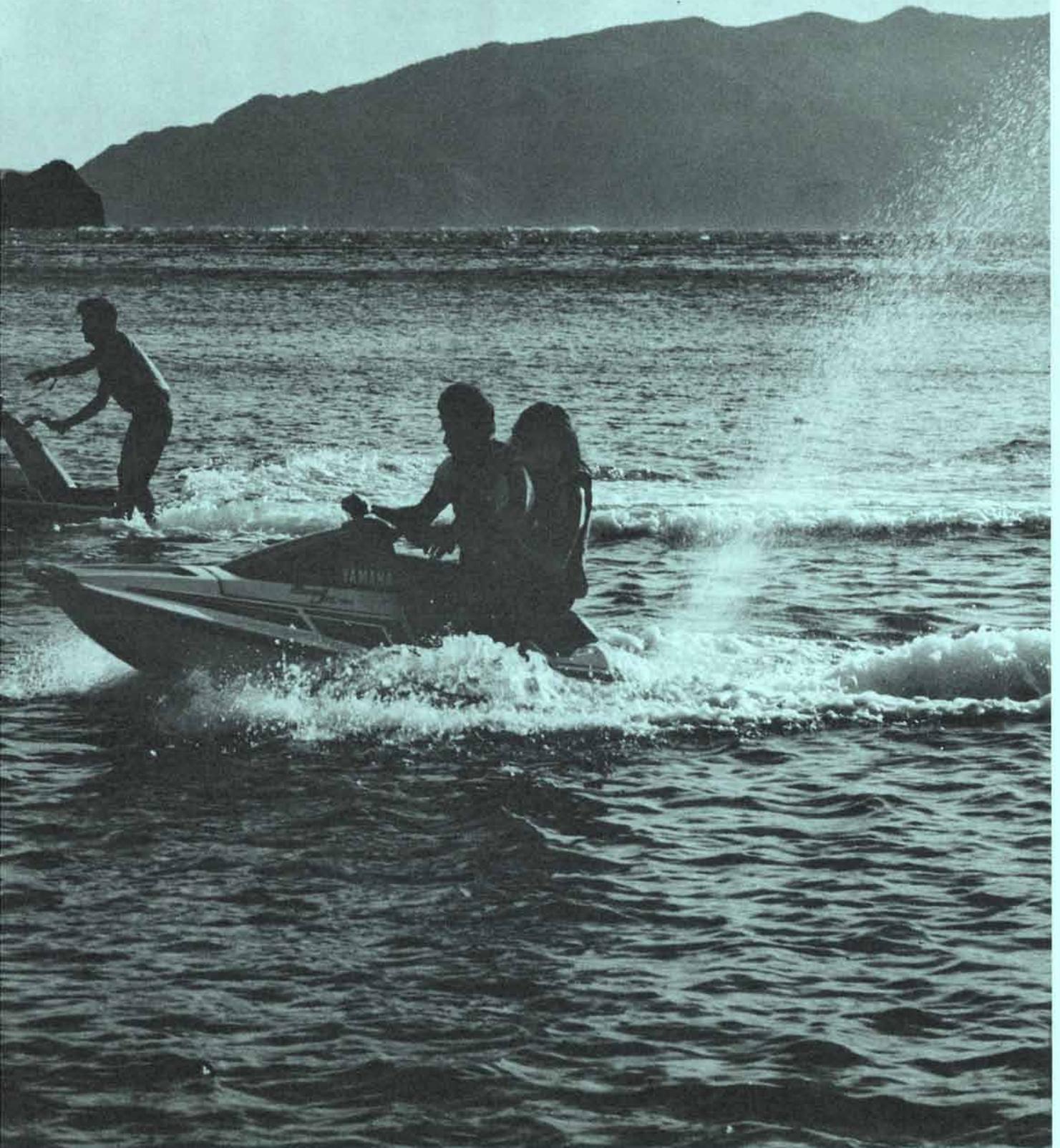
「それにしても、という感じがします
が(笑)。若者のたまり場になっているの
は、なぜだとお考えですか。
「今までお話しした便利さに加えて、昔の
だ菓子屋の役目もあるのではないでしょ
うか。50円位のお菓子もありますし、私
達がよく通った駄菓子屋さんはもうなく
なりましたからね」

「はあ、駄菓子屋ですか。なるほど。
「そういつた中で、彼らの欲求にす早く
応える必要があるわけです。さいわい、
ファーストフードは他チェーンとの差別
化がしやすい分野ですから、より新しく
より美味しいものを提供するべく、メー
カーさんと研究を重ねています」

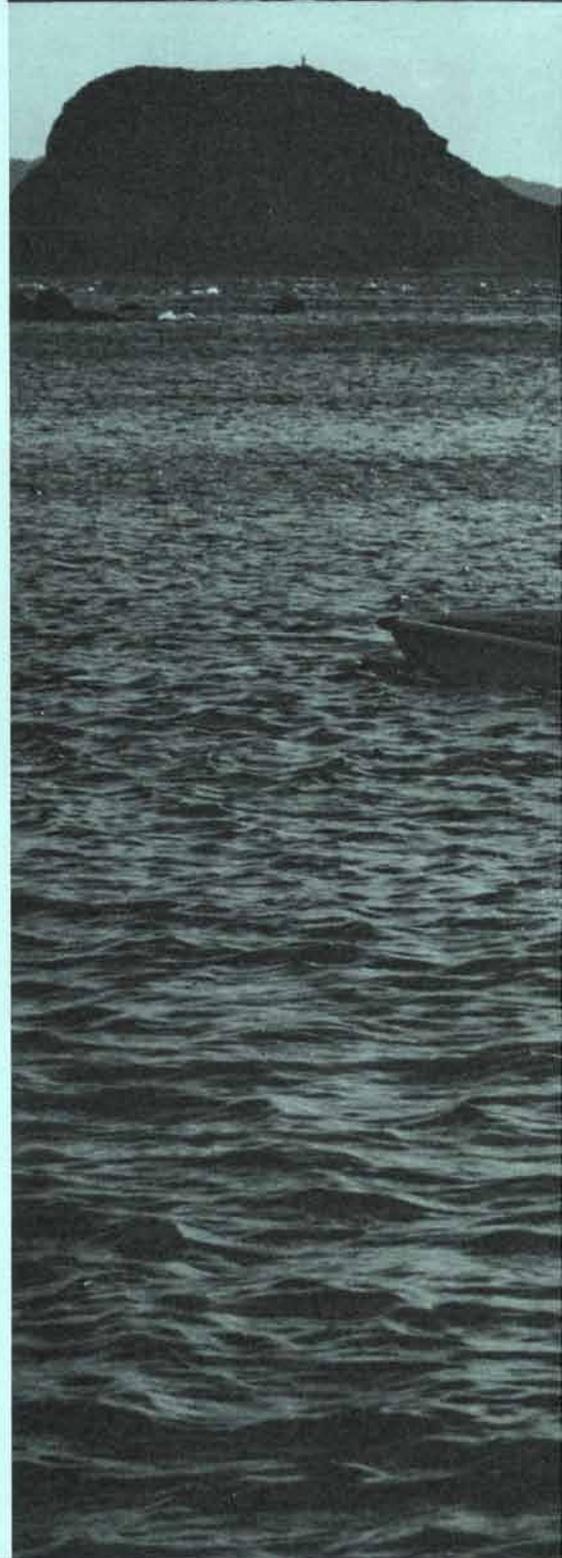
「そういつた中で、彼らの欲求にす早く
応える必要があるわけです。さいわい、
ファーストフードは他チェーンとの差別
化がしやすい分野ですから、より新しく
より美味しいものを提供するべく、メー
カーさんと研究を重ねています」

YAMAHA NOW

ヤマハの企業活動は、いまこんな広がりを見せている



水辺をスポーツフィールドに変えた ウォータービークル ヤマハ・マリンジェット



水ぬるむ頃、アクティブなマリンスポーツに興じる若者の姿が、めっきりと目立ち始める季節です。そしていま、そんなヤングたちの間で大いに話題を呼んでいるのが、昨年に発表された『ヤマハ・マリンジェット』。ヨットやモーターボートなどでわが国の本格的なマリンスポーツの世界をリードする『海のヤマハ』が、より身近かなマリンスポーツ分野の拡大にも一層積極的な取り組みを開始したことが、彼らの期待を高めているのです。

この『マリンジェット』は、陸と海の接点・渚や入江を中心に、より楽しく、より安全に、そしてより機動的に走れる乗りもの。ウォータービークルをコンセプトとして開発した、いかにもヤマハらしいニュータイプのマリ的商品といえるでしょう。

このように渚や入江を縦横に走りまわりたい、という欲求はかなり古くから多くの人たちの間に存在していたのですが、ここ30年来のモーターボートやヨットの急速な発展にもかかわらず、この分野は基本的にはローボートからそれほど発展はとげていません。そうした中で、

浅瀬でも海底や障害物に引っかかることなく走りまわれる、波を受けても簡単には転覆しない、例え転覆しても容易に復元し再乗船できる……そんなウォータービークルの開発が長年にわたってつづけられ、いくつものプロトタイプ艇でのトライ&エラーを経て、2人乗り500T、1人乗り500Sの2タイプの『ヤマハ・マリンジェットMJ-500』が誕生したのです。

動力にはハイパワーでしかも軽量・コンパクトな2サイクル、ツイン、496cc、32馬力のジェット・エンジンを採用。前方から吸込んだ水をジェット噴射させて推進力としています。また艇体は打込み水の溜まる場所がないノンウエル構造として転覆を防ぎ、再乗船を容易にしています。またハイレベルな走行安定性（ダイナミックスタビリティ）に加えて静止時の安定性（スタティックスタビリティ）にすぐれています。

るのも『ヤマハ・マリンジェットMJ-500』ならではの特徴となっています。

もちろん、こうしたウォータービークル・ヤマハマリンジェット登場の背景にあるのは世界的に共通したヤングの遊びの多様化です。アメリカの内水面では、水上スキーやウィンドサーフィン、ウォータービークルなどを楽しむヤングのクルマにモトクロッサーやATVが積込まれている姿が、ごく日常的なものにさえなっています。

そして『ヤマハマリンジェットMJ-500』の登場は、日本の水辺にもそんなシーンをぞくぞくと生み出していくものでしょう。そのため、操船に必要な小型船舶操縦士4級免許取得のサポート、安全な乗り方の指導、そしてマリンジェットにより新しい遊びの開発などをめざしてヤマハ・マリンジェット安全普及本部も設置より多くの人たちにマリンジェットを通じて多目的な水辺のレクリエーションを提供するための活動が、くりひろげられています。

情報スクランブル

おもしろい販売店さんのための情報アンテナ

BOOKS

●一読すれば売上げ倍増

『入りやすい店、売れる店』

同じような店構えなのに、なんとなく買いやすいお店と買わずらいお店があります。この本はその原因を徹底究明。売るための重要ポイントを店員さんのアクションに見いだし、接客アプローチのタブーや店舗レイアウト別アクション術、良く売るお店の具体例などを、イラストを駆使して判りやすく解説しています。サービス技術も品揃えも十分なのに、なぜか売り上げがいま一步という販売店さん。ぜひとも一読ください。この商売に自信がわいてきます。

馬淵哲、南條恵著 日本経済新聞社 ¥1200



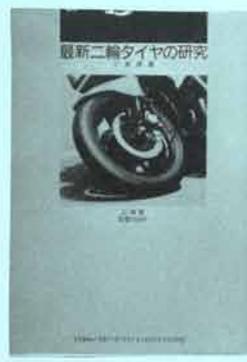
●必要不可欠な知識

『最新二輪タイヤの研究』

エンジンの次にマシンの性能を左右するパーツと言われるタイヤ。外観上の変化が少ないために、その中に秘められた科学は意外と理

解されていないことが多いようですが、その進歩は本体同様にめざましく、最近では用途別に細分化された数多くのバリエーションを生みだしています。

お客さまがタイヤの重要性を認識し、それらのバリエーションの使い分けをはじめている昨今、タイヤに関する知識はバイク販売にとっても必要不可欠。この一冊で最新のタイヤ知識を吸収しましょう。



WAVE MUSIC SENSOR

※このスペースの情報提供は、東京・六本木の流行発信地、ウェーブです。

●渋さのギターサウンド

『LAST NITE』

(ラスト・ナイト)
すっかりと渋味を増したベテラ



ンギタリスト、ラリー・カールトンの新作アルバムはなんとライブ録音です。前作の環境音楽路線とはうって変り、リラックスした雰囲気の中にジャージーでブルージーナサウンドを聞かせてくれます。

●パワフル&ビューティー

『The house of blue light』

(ザ・ハウスオブブルーライト)
本物のヘビーマタルを引っさげて帰ってきた帝王ティープ・パールの再結成第2弾アルバムです。メンバー一人ひとりの表情にはさすがに年令を感じてしましますが、若かりし日のパワフルなサウンドは健在です。



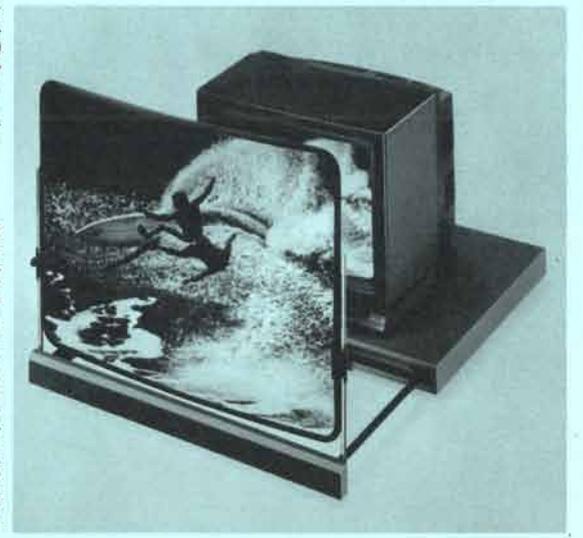
COMMODITY

●手軽にテレビを大画面化!

『テレビ・ズームアップ スクリーン』

ビッグレースの模様やお店のイベント紹介など、今やビデオはお店の必需品。しかし、せつかくの迫力ある走りの場面も、小さな画面で見ただけではイメージダウン。

大きく写しだしてこそ、評価もあがるというものです。そこでおすすめなのがこの「ズームアップスクリーン」。



工事不要で手軽に14型のテレビを26型に、また17型のテレビを30型に拡大。しかも特殊レンズの効果で、乱反射やゆがみのない高画質な映像が楽しめます。

●デスク上の

『ニュー・クリンポイ』

油よごれを追放
修理途中でかかってきた電話。手を洗っている暇もなく、仕方な



く油に汚れたままの手で受話器をつかみメモをとる。日常茶飯時のできごとですが、受話器や机についてしまった油污れ、とてもこまるものですね。そこで活躍するのが「クリンポイ」。従来の使い捨てタイプぬれふきんに、洗浄効果をアップする特殊成分を浸み込ませ、油污れを化学的に分解。ひとふきするだけで元の美しさを取りもどします。

エステー化学㈱ ¥400

訂正とお詫び
前号本欄でご案内いたしました『東京モーターサイクルショー』の開催期間が誤っていました。正しくは3月20日(金)から22日(日)までの3日間です。お詫びして訂正させていただきます。
(編集部)

感謝の気持ちをヤマハラしく
ヤマハ・オリジナル・ノベルティ

2
おおらかなお客さまにも几帳面なプレゼント
ヤマハの時計

おしゃれでしかも機能性も最高、それがリストウォッチ、ストップウォッチ、トラベルクロックの3タイプそろったヤマハ・ノベルティの「時計。たちです。

防水100mの本格ダイバーズウォッチ●
メンズ・リスト・ウォッチ・ダイバーズ
(No.189 ¥11,500) スポーティーなレ
ディス版のダイバーズウォッチ●レディス
・リスト・ウォッチ・ダイバーズ (写真
No.207 ¥11,500) 光さえあればどこでも時
間確認がOK●ソーラー・ウォッチ (No.
205-6 ¥3,800) 世界各国・主要都市の時
間がわかるアラーム付置時計●トラベル
・クロック (No.071 ¥4,000) ラップも積
算もOKの100分の1秒ストップウォッ
チ●デジタル・ストップ・ウォッチ (No.
192 ¥4,800) ※価格は参考小売価格です。
詳しくは担当セールスマンにお問い合わせ
ください。



女性インストラクターの指導日記
原付免許取得を目ざす
姑と嫁のいい関係

2月某日 晴れ

免許試験場での乗り方指導を終えて、急いで門を出ると、駅へ続く人の波に出逢う。免許を手にした人達の足どりは、夕暮なのにその日の疲れもみせず、軽やかに家路に向かっているようだ。

高校生らしい若者達は、友人達とバイクの話題でもちきりになる。男性はできるだけ速くて力のあるバイクを買いたいと、そして女子高生は誇らしげに「もう買うバイク決めてるんだ」と、うれしそう。「きょう帰り道にお店の前を通るから、歩きながら見て行くんか。まだあるかな?」

突然「先生!」と声をかけられてふり向くと20代そこそこの女性がニコニコとあいさつする。「はてな?どこかでお会いしましたっけ!」一瞬考える。「さきほど乗り方を教えていただいて!」



あ、思い出した! 私も慌ててあいさつに答える。
これまで86点、88点というところで不合格。今日3回目をやっと合格したというその女性は、お姑さんと2人で原付免許を受験したのだという。うれしそうだけど、ちよっぴり残念そうに「でもお義母さんは、また落ちちゃったんですよ!」

世間では、同居している姑と嫁の間に難しい問題をよく聞くが、この女性とお義母さんは、どうやらうまくいっているらしい。お姑さんは56歳とまだ若い。「主人のバイクが家にあるから」というのが、このお姑さんが免許を取ろうと思いついたきっかけだそう。それに、お姑さんが便乗したわけ。2人で受験勉強が始まった。お義母さんは歳だからといって、なかなかペースが進まない。二人で教えあつて不合格を重ねると、いつしか軽い気持が本気になった。燃えているせいか二人の話題は、いつも原付の話。「お義母さん、どうしても一緒に合格したい」となぜか思っていたから、うれしければ少し残念だという。「きょうは先に帰って、お義母さんが夕飯の支度をしてるっていうんです!」同じ目標を持ち、二人で助け合い、不合格の無念も寂しさも共に分かちあつて励ましてきた。原付免許の勉強が、二人の人間の距離を微妙に埋めていたのだろう、なかなか良いもんだと気がいい。

店頭
生情報

「どんな問題が出たか、今夜お義母さんと話し合ってみると良いと思いますよ。きつとどこか同じ間違いをくり返しているはずですよ。間違えて覚えてるところがあるんじゃないでしょうか?」
駅に向う道すがら、こんな会話をしている。すると「私もそうでした」とうなずく。「急な下り坂は追い越し禁止。場所と、教科書には書いてある。しかし、急な上り坂については触れていない。」

●比較対照車のカタログは
セールスストークの必需品!!

ズラリと揃ったニューバイクの前に、車種選びをするのもお客さまの楽しみのひとつです。ところが、お客さまにとって必ずといってよいほどぶつかるのが競合車種との比較の壁。「デザインはA車だけど価格ではB車」という迷いが生じ、バイクのプロである販売店さんに相談となるわけですが、このときに競合モデルのカタログを揃えておくと、驚くほどスムーズに商談がまとまるといいます。もちろんですが、これについてはお客さまもすでに研究済みと考えるのが常識。カタログを使って説明するのはもっと詳細な部分、例えばモデルの写真の前にしてのフレーム形状の比較などです。
熔接箇所が多いと剛性が下がるとか、幅や厚さなどをジックリと眺めてもらい、ひとつずつ理詰めとで説得していくのです。こうすることにより専門誌や友人から得た

この女性は、急な坂道は上りも下りも追い越し禁止場所と覚えてしまつたらしい。ちなみに、ヤマハ原付免許教室の受講を勧めた電車に乗ると、今度は本当にうれしそうに「お父さんのバイクがあるけれど、三回も苦勞して合格すると、やっぱり自分のスクーターが欲しくなっちゃう!」
この女性はきつと、またしばらくお姑さんと受験勉強が続くのだろうと思っている。(O)

●店頭ゲームで来店促進

お客さまを迎える体制は完璧なのに、肝心のお客さまがなかなかお店に来てくれない。オートバイに限らず、消費者の購買意欲が衰えたといわれる昨今、こんな悩みをお持ちの販売店さんも多いことでしょう。
そこで、なんとお客さまにお店まで来てもらおうと、店頭でユニークな「落花生の手づかみゲーム」を開催して、大きな成果を納めたのが東京のS店さん。
カラ付きのビーナッツをつかみ、その重さを当ててもらおうという単純なゲームですが、豪華な商品を揃えたため、その日の店頭は押せや押せやの大賑ひ。もちろん、ただお客さまに集まってもらったのではなく、既存ユーザーや有力見込客を中心にゲーム参加してもらい、セールスの方もバッチリ。ちなみに落花生の重さは当てにくいくので、「正解者はゼロだった」ということです。

ニューモデルの
お客さま 3

SEROV225

北海道ツーリングで二変した 私のバイク観

小泉明さん(東京都調布市)

●25才・アルバイト・未婚●所有免許・自動二輪(中型)・大型免許●二輪乗車歴9年
●セロー225、61年12月購入●購入店・YSP調布●セロー225以外の所有車・バルレックス

「16歳で中型免許を取得して以来オンロードモデルばかりを乗り継いできた私ですが、昨年の夏に、50日間をかけて北海道ツーリングに行ったのがきっかけとなって、バイクに対する考え方がガラリと変わりました。

どこでも走って行けるのが本当のバイク、そしてそれにはオフロードモデルがベストだ、と思うようになり、そこで選んだのがこのセロー225。10年近い私のバイク歴の中でも、初めてのオフロードモデルです。

「扱いやすさ」を優先した、というのが



このマシンを選んだ理由ですが、やはり実際に乗ってみるとその軽い取りまわしとコントロールしやすい特性に感激。4サイクルのなめらかさと抜群の足つき性で、オフを走っているの恐怖感が全くないですね。

実は私、今年の5月から4カ月の日程で西日本一周約2万kmのツーリングを計画していて、今はその準備中なんです。休日には相模湖周辺のオフを走って、足ならし。中なんです。が、それにしてもセロー225のバランスの良さには大満足しています」

またひとつ「夢中」になれるものが増えた



職場の林道ツーリング仲間と(中央が監物さん)

監物正二さん(千葉県市川市)

●21才・会社員・未婚●所有免許・普通車、中型二輪●二輪乗車歴・2年半
●セロー225、61年12月25日購入●購入店・YSP京葉(東京都江戸川区)
●セロー225以外の所有車なし

「四輪ディーラーのサービスマンをしている自分とオフロードの出会い、会社の仲間から125ccのトレールモデルを譲ってもらったことがキッカケなんです。

そして昨年の5月に初めて仲間とオフロードに走りに行ってからますますその魅力にとりつかれてしまっ、12月にそれまで乗っていたTZR250を手放してマイナーチェンジしたばかりのセロー225を購入しました。

普段は通勤の足として利用し、休みがとれるとツーリングに会社の仲間と

出掛けるといったペースでバイクを楽しんでいます。セローは、オフロード車の中でも小柄で足つき性もよく乗りやすいところが気に入っています。エンジン性能も扱い易く疲れないところがいいですね。そしてオンロードでも充分満足できる走りが出て、道を選ばないのいいところ。

やはり自分のように会社に勤務している者ですと、日曜祭りをできるだけ有効に使うために「夢中になれる」遊びをとても熱心に探しているんです。

今までは夏は海、冬はスキーでしたが最近「林道ツーリング」とまたひとつ夢中になれるものが増えたのがとてもうれしいですね。

自然の中で遊べるセローで、また新しい発見ができれば最高だと思っています」

風間さんガンバって！ 北極点遠征隊の壮行会開かれる

TW200 (87輸出モデル)の改造マシンでバイク

による北極点踏破をめざす風間深志さんの話題は、5

ページ・カラートビックスにもご紹介しましたが、2

月3日には日本出発をまじに控えた風間さんの壮行会

が都内のホテルに開催され、友人、報道陣約700人を

集めて盛大に開かれました。

この日は、ヤマハを代表して森永取締役やロードレ

イスの平忠彦選手もあいさつに立ち、風間さんの壮

の現に熱のこもった激励を送っていました。

なお遠征隊は、3月上旬カナダ最北端のワードハン

トから北極点に向かうことになっていきます。

風間深志北極点



多ぜいの人たちの激励をうけて抱負を語る風間さん(上)、ヤマハを代表して森永取締役も励ましの言葉を(右)



YAMAHA OSAKA CUP通信⑤

スタートまで あと20日

予想されるコースと見どころ

このところ急速に関心度を高めている太平洋縦断『YAMAHA OSAKA CUP・メルボルン/大阪 ダブルハンドヨットレース』のスタートが、いよいよこの3月21日・土曜日に迫ってきました。10カ国から90チームが参加、10,200キロの航程に、ひと月半にわたる激走を展開するこのレースの見どころを、このコーナーでもこれまで4回にわたってご紹介してきましたが、スタートを目前に控えた今月は予想されるコースと、その見どころなどをとりあげてみましょう。

『YAMAHA OSAKA CUP』は、スキッパー(艇長)とクルーの2人だけの全長10m~16mの外洋クルーザーで赤道を横切り、多島海を抜け、複雑で変化に富んだ気象・海象の荒海を走破するレース。それだけにコースの選定がレースの行方を左右する大きな要素となるわけです。予想されるコースは右図のようなものですが、それぞれのコースにいくつかの難所が控えています。

〈オーストラリア東部海域〉

オーストラリア東部沿岸海域には、珊瑚海からオーストラリア沿岸に沿って南下しニュージーランド沿岸で北上する東オーストラリア海流があります。またメ

ルボルン付近は西風の吹く海域、さらに北上すると風の弱い海域、そして南緯25度付近からは南東貿易風帯に変わります。海流に逆らい風を選んで北上するか、ニュージーランド側に進路をとって海流にのるか、が第一のポイントです。

〈メラネシア海域〉

最端距離のコースは、ソロモン群島を抜けるものですが、この海域は水深2,000mから数mの珊瑚礁まで変化に富んだ海底状況が、むずかしい海象をつくり出しています。また南緯10度から北緯5度付近は、赤道収斂帯と呼ばれる無風海域。いかに早く風をみつけて帆走距離を伸ばすか、がポイントです。

〈ミクロネシア周辺海域〉

赤道無風帯を抜けると北赤道海流が東から西へ流れています。この海流はフィリピンから台湾にかけて西岸強化流となって勢いを増し日本の太平洋岸を洗う黒潮となります。レース艇にとっては、北赤道海流から北東貿易風を利用した快適な帆走が期待されるどころです。

〈日本近海〉

日本近海への到着は、温帯性低気圧・メイストームの発生しやすい4~5月。黒潮のつよい流れと変わりやすい初夏の風をとらえて、大阪港へ最後のスパートです。



メルボルン/大阪
ダブルハンドヨットレース1987
YAMAHA OSAKA CUP



女性ばかりのハーフデイトゥーリングで スクーターの楽しさみ〜いっけした!

〔ヤマハ東京・川越営業〕埼玉県上福岡市の「南ミナミ商会」(南次郎社長)さんでは、1月25日、スクーターの女性ユーザーばかり13名を集めて、女性スクーター・ツーリングを行な

いました。

「これはスクーターの女性ユーザーのみなさんにも、スクーターを使った遊び、仲間とちろちろって遊ぶことの楽しさを発見して欲しい。それ

によって通勤や通学ばかりでないスクーターの世界を知っていただくきっかけになればと思って企画しました」と南社長も語るように、お店のスクーター販売の活性化を狙ったもの。

当日は、お店をスタートして近くの黒山三滝をめざす半日コースでしたが、途中には女性好みのグルメ・スポーツもあり込まれて、参加した女性ユーザーのみなさんも大満足。「これからもスクーターのお客さまにもどんどん遊んでいただき、新しいスクーターの楽しさを発見していただくような活動をつづけていきます」と南社長も意欲を燃やしています。



「寒くなんかありません。スクーターで走るのが、こんなに楽しいなんて!」と女性ユーザーも大満足

スクーターや原付市場の活性化にも意欲的な「ミナミ商会」さんでは、お店のスタッフ15名が連絡の足としてYSR50を使用中

時ならぬ沖縄のケニー・フィーバー



学生さんから主婦まで、参加メンバーの顔ぶれも多彩

にぎやかに、昇龍の舞で初荷セール

〔ヤマハ中部・金沢営業〕販売店さんとヤマハのスタッフが丸となって新しい年のご商売のスタートをにぎやかにあげよう。初荷セールが、ことしも全国各地でくりひろげられました。この金沢営業所では、セールス、サービス、パーツのスタッフが一体となって加賀から奥能登まで70店の販売店さんを訪問しました。

この初荷セールは、毎年趣向をこらした出し物で、販売店さんやお客さまから人気を呼んでいる恒例のもの。一昨年の「おみこし」昨年の「獅子舞」につづき今年は「昇龍の舞」。ドラとタイコにのってくりひろげられる龍踊りに「派手な初荷」活気があつていいネエ」とお客さま、その笑顔に、販売店さんも新しい年のご商売に意をつよめられていました。



華やかに東京国際ボートショー開催

マリンスポーツ・シーズンの到来を告げて人気を集める恒例の東京国際ボートショーが、2月11日から5日間、東京・晴海の国際見本市会場で開催されました。

今年で26回目を数えるこのショーには、最近のマリンスポーツの幅広い普及ぶりを反映して内外108社からモーターボート、ヨット、エンジン、セイリングボード、水遊用品、カーボート、カヌー、カヤック、マリノウェアなど海に関するすべての商品が展示されていました。

そうした中で、今回もショーの主演をつとめたヤマハコーナーは「グレート・マリリン・ワールド」をテーマに、セイリングクルーザー、モータークルーザーから話題のセイル



ボード、マリレンジェット、さらにマリノウェアやアクセサリーまで「海のヤマハ」のすべてを、楽しく華やかに紹介して幅広い来場者の人

気を一身に集めていました。なお、このショーは2月20日から23日まで、会場をヤマハ大阪カップ開催にわく大阪に移して開かれました。

英紙も折り紙！「洗練されたバイク販売は、日本が一番、

かつてはイギリスとバイクといえば、必ず「モーターサイクルの本場」の形容詞がついたものですが、最近ではだいぶ事情も変わった様子。東京・池袋の「YSP 東京北」さんを見学したイギリスの二輪専門紙「モーターサイクル・ニュース」の記事は、驚きをまったく陰さず、その印象を次のように報じています。

● 日本に英国製バイクの専門店ができて、せいぜ

いもつのは2日だろう。それほど、日本のバイク販売は洗練されている。写真は東京の下町にあるヤマハ・スポーツ・プラザのスタッフが、にこやかに顧客を迎えているシーンだが、この店の洗練されたファッション性は、ロンドン・ウエストエンドのブティックにも匹敵している。店のスタッフは流行の最先端に行くユニフォームに身をかため、展示車もオリンピックのモーターショーの最も華やかな展示コーナーも顔負けの魅力的な回転台にディスプレイされている。

また、日本ではユーザーの3人に1人は自分のマシンを通勤や通学に使っているといわれているが、彼らのレザースーツたるや、プライベートのGPライダーよりずっとカラフルだ。好むと好まざるとにかかわらず、英国のバイクショップは、もっと商売にファッション性をとり入れるべきだ。もっとショップをスマートにしよう！ そうでないで脱落してしまうだろう。

〔機沖縄ヤマハ〕2月7日、折りから来日中のケニー・ロバーツは、沖縄那覇市の機沖縄ヤマハでファンサイン会を開きました。

これは、チーム・ラッキーストライク・ロバーツのスポンサー・ラッキーストライクの主催、沖縄ヤマハの協賛で開かれたもので、キングのケニーをひと目見ようと約3千人の

ファンが詰めかけ開催中の87ニューモデル試乗会をしのぐほどの大盛況ぶり。ケニーはファンの握手せめに、またサインにと大奮闘をつづけていましたが、一枚300円の色紙の売上金はすべて沖縄県交通安全協会に寄付。またこの日の模様は、いくつもの地元新聞に大々的に報じられていました。



TZユーザーのための 走行会を開催

ロードレースの名門クラブ「スポーツライダース」で知られる「YSP横浜旭」(野口モーターズ・野口種晴社長)さんでは、2月4日、6日の両日、茨城県の筑波サーキットにお店のTZユーザー32名を集めて走行会を開催しました。

これは'87TZ購入のお客さまを対象に、シーズン・イン直前のマシンのウォーミングアップと'87TZのメカ知識を正しく吸収していただくことを目的に開かれたもの。当日は早朝7時から12時まで午前中いっぱい、走行会と技術講習会、質疑応答が行なわれましたが、参加ユーザーの熱心な姿に野口社長も「参加したほとんどのお客さまに満足していただけてとてもよかったです。安全にロードレースを楽しんでいただくためにも時期を決めて継続的に開催していきたい」と語っていました。



3月のレーシングカレンダー

- 3月7～8日……全日本ロード①スズカ2 & 4
- 8日……全日本トライアル①九州・熊本
- 8日……デイトナ200マイルレース
- 14～15日……全日本モトクロス①関東・桶川
- 22日……全日本トライアル②近畿・猪名川
- 27～29日……世界GPロードレース①日本

話題を 追って

車両通学解禁に YRSを定期開催

(東海大学
湘南校舎)

神奈川県平塚市にある東海大学のメインキャンパス湘南校舎では、昨年9月、20条からなる。学生の車両通学に関する規則。を定め、車両通学登録許可制度。を採用して、それまで全面的に禁止していた車両通学を解禁しました。

また、これと同時に活発な交通安全教育を実施、その一環としてYRS(ヤマハ・ライディングスクール)を定期開催していますが、これが予想以上の波及効果を表わし始めています。禁止よりも安全教育、東海大学のこの積極的な姿勢は、同じような条件下にある全国のキャンパスにとって格好の参考事例といえそうです。

「禁止より教育」と車両通学解除
広大な敷地にある東海大学・湘南キャンパスには、およそ2万3千人の学生がいます。現在車両通学をしているのはそのうちの2割強。ざっと5千人。20年前にここに移動して以来、同校は学生の車両通学を全面

的に禁じていました。にもかかわらずキャンパスの周辺は、ルールに反して通学してくる学生の違法駐車でいっぱい、同時に事故の方も、湘南のワーストワンといわれるほどの状況で、周辺住民にも

少なからぬ影響を与え始めていました。そうしたことから同校では、学生課に交通問題委員会を設置、昨年の後期より約3千台収容可能な駐輪場を設置して車両通学を条件つきで解禁したのです。

「学生たちがバイク、スクーターやクルマを通学に利用したいというのは、現代社会ではきわめて自然なことです。それを押さえることより、ルールを守る。社会人としての自主性を養うことの方が、教育責任として大切なことは当然でしょう。それと教育・研究の環境をつくり出すばかりでなく、地域住民の生活環境を守る責任も大学にはあるわけで、そう

交通問題委員会の中心となってYRS開催、駐輪場設置などを精力的にする小平学生課長(右)



したことから車両通学の許可制解禁となったのです」と学生課・小平孝雄課長は語ります。

の姿勢が学生たちにもしつかりと理解され、左下写真のような整然とした道路状況を生み出すまでに至っています。

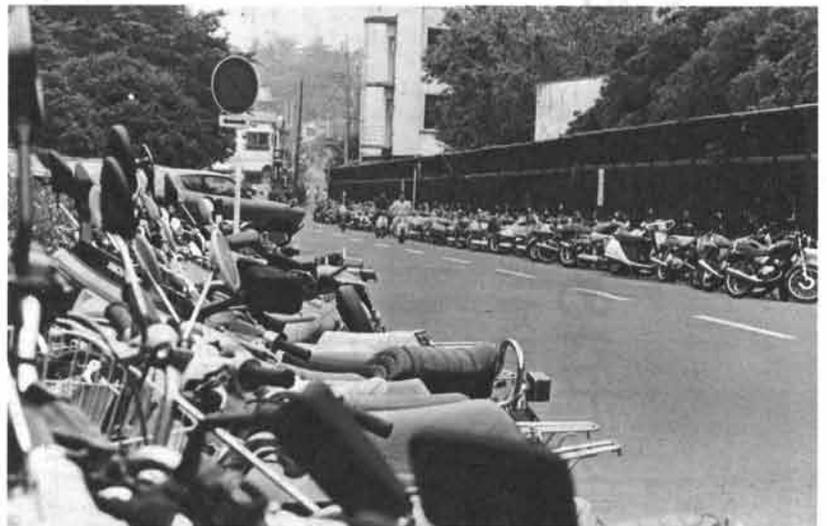
YRSからルールやマナーを守る姿勢も！

これほどまでに短い期間で大きな成果をみるに至った背景には、もうひとつの大きな要因があります。そ

れは同大学がみずからの主催で定期的に開催を始めた「YRS」。もちろん講習会は、安全運転技術



大学主催のYRSだけでは物足りず、いまではヤマハ東京主催のYRSの常連となっている東海大生も多い



キャンパス周辺道路も車両通学解禁前(上)と解禁後(下)では、このちがいがよう

の習得のためにヤマハさんの協力で始めたものですが、テクニクのトレーニングを通じて、ルールやマナーを守る姿勢も自然に生まれ安全運転ばかりでなく駐車・駐輪等の面でも予想以上の好結果が得られているのではないのでしょうか。YRS会場の荒井自動車学校・花水校で見ていると学生の表情、学校に入る時と帰る時ではまったくちがいますからね。自覚が生まれているというか……」と語るのは、同じく学生課の倉橋勇一課長補佐。

この東海大学のYRSは、あくまでも学生の自主参加。昨年11月23日に第1回、12月14日に第2回を開き、

今年4月から6回の開催を予定しています。これまでの参加者はほとんどが自動二輪ですが、学校では

学生にも好評のYRS

一方、当の学生たちの反響はどうでしょう。「この春で4年生なんです。1年生の時YRSなどがあつたら良かったと思いますね。もちろん今年も参加しつづけます」

「以前は抜かれると自然にアクセルが開いたけど、今は余裕があるから気にならない」とYRSは、この他好評。

「将来は、学生の中からインストラ

「今年ぜひスクーターなど原付ユーザーの参加を……」と呼びかけています。

クターが表われるぐらいになって欲しい」という小平課長。そんな大学の期待を知ってか知らずか「卒業しても郷里でYRSを開きたい」というインストラクター志願の学生も表われているほど。

地域と共にある大学。を目指す東海大学の動きは、車両通学解禁とYRS定期開催をキッカケにますます前進を始めています。

春のスクーター商戦は

ジョグ・スプリング・キャンペーンから

2月から新登場の「ちゃんとしたスクーター・ジョグ」、お店での反響はいかがですか？

このニュー・ジョグを中心に、ひときわ積極的な春のスクーター商戦を展開し、スクーター市場の活性化とご商売の安定基盤の確立を推進していただこうと、ヤマハでは3月1日より「ジョグ・スプリングキャンペーン」を実施しています。

これは、「スクラッチクイズに挑戦して原田治のオリジナルグッズを」というお客さまの立場に立ったコミュニケーション手段で来店を促進し、来店者にはもれなくデモカーによる試乗の機会を提供、そしてニュージョグの「ちゃんとしたスクーター」ぶりをしっかりと体験し

ていただき代替に、増車にむすびつけようというものです。

このキャンペーンを告知する●DM、

チラシ、また来店者に実施する●スクラ

ッチカード、クイズ当選者へのプレゼン

ト●原田治のオリジナルグッズをはじめ

このキャンペーンを盛り上げ店頭の話

づくりに最高の●マールボログッズ・レ

シングノベルティ、ヤングに人気の●原

田治オリジナル・ノベルティ……など即

売用オリジナルグッズのわずかでも豊富

に用意しました。さあ、「ジョグ・スプ

リング・キャンペーン」で、春のスクー

ター商戦を大いに盛り上げてください。

※キャンペーンについて詳しくは担当セールスマンにお問合わせください。

SALES

キャンペーン告知チラシ



スクラッチカード



メモセット



PP製シーズルーバッグ



案内DM

●原田治ノベルティ



マグカップ



SAFETY

限定解除のポイントをビデオでマスター 『めざせ！大型自動二輪』完成

自動二輪免許・限定解除試験の合格のポイントをわかりやすく解説したビデオソフト『めざせ！大型自動二輪一チャレンジ・ザ・ビッグバイク』が、完成しました。

これは「限定解除への最短距離」とし

て知られるヤマハ・テクニカルセンターの監修のもとに、YBS（ヤマハ・ビッグバイク・スクール）のノウハウをフルに生かして、楽しく、わかりやすくまとめたもので、実際の指導もヤマハ・テクニカルセンターのベテラン・インストラ

SERVICE

サービス機器充実のチャンス！

ヤマ・スプリングセール好評開催中

2月16日から4月30日までの期間で、みなさまのお店のサービス工場の工具・機器の充実を促進していただこうと、選

び抜いた114点をお求めやすい特別価

格で幹旋する。ヤマハ・スプリングセー

ル」を開催しています。

とくに今回は、認証工場の資格取得に

欠かせない機器を中心に、省力化機器を

多数取りそろえました。どうぞこのセー

ルを活用して、お店でもサービス工場の

設備・機器の充実をおはかりください。

新刊サービスマニュアルのご案内

3月10日からの新発売にあわせて「FZ R750」および「XV400ピラーゴ」のサービスマニュアルを次のとおり用意しました。どうぞご利用ください。

▼FZR750 注文No.3221121

▼XV400ピラーゴ 注文No.3221122

価格はいずれも3000円。

わかりやすいメカニック教室テキストが揃いました

メカニックに興味を寄せるお客さまが増えるにつれて、お客さま対象のメカニック教室を開催するお店が目立っています。そこで、販売店さまのメカニック教室の教材としてご利用いただこうと、バイクのメカニズムをやさしく解説した、「メカニック教室テキスト」を製作いたしました。このテキストをお店でもどうぞご利用ください。

《メカニック教室テキスト》各250円

▼DOHC入門 注文No.322015

▼SUキャブレター入門 注文No.322016

▼YPPV入門 注文No.322017

▼VMキャブレター入門 注文No.322018

※このコーナーに関してさらに詳しくは最寄りのヤマハ特約店・販売会社・サービス課宛にお問合わせください。

春のスポーツバイク・セールに、ご利用ください!

チャンピオンシップ・カーニバルでも大人気の

『ヤマハレーシング '86-'87』

14ページにご紹介しました'87新春ヤマハ・チャンピオンシップカーニバルの各会場でも販売され、来場者の大きな人気を集めた'86年ヤマハ・レース活動の集大成『ヤマハレーシング '86-'87』お店ではもうご商売に活用いただいていますか?!

'86-'87』

世界GPロードレースを中心とした'86ヤマハレーシングチームの活躍ぶり、ヤマハレース活動の30年史、ヤマハ・レーシングスピリットを中心に、企業発行者物ならではのインサイドストーリーでまとめた『ヤマハレーシング '86-'87』は、幅広い方がたにヤマハのレース活動を紹介する最高の1冊です。

この春のお店のスポーツバイク取扱キヤンペーンの特典アイテムとして、またシーズン開幕に湧くモータースポーツファンのお客さまへの手引書として、どうぞ幅広くご利用ください。

※A4判、92ページ・定価1000円
※お申込みは担当セールスマンにどうぞ。

●3月のヤマハ提供テレビ番組

〈ONANFOFF〉

- ▼3月6日 『トイズ・ラン』 (バイク編)
- ▼3月13日 『マイ・レディ』 (マリン編)
- ▼3月20日 『FZR250』 (バイク編)
- ▼3月27日 『470級・佐藤愛子』 (マリン編)

〈月曜ロードショー〉(TBS系全国ネット)

- ▼3月2日 『アルカトラスからの脱出』
- ▼3月9日 『日本沈没』
- ▼3月16日 『燃えよドラゴン 地獄の危機一髪』
- ▼3月23日 『ビューティフル・ピープル』
- ▼3月30日 『二代目はクリスチャン』

●マールポログッズ



キーホルダー

ハンカチ

マネークリップ

キーホルダー

ワッペン

ステッカー

※この他にバンダナ、ハンディケースがあります。

ステッカー

KART

話題のサーキット・カートレース

『フォーミュラ・ヤマハ100』いよいよスタート!

本格的レーシング・サーキットでくひろげるワンメイク・カートレース『フォーミュラ・ヤマハ100』が、いまSLカーターの話題を集めています。

今年からスタートするこのサーキットカートレース『フォーミュラ・ヤマハ100』は、レーシング・サーキットの豪快な走りやスリップストリートの迫力などカートコースでのレースとは、がらりと異なったレースの楽しみが味わえるもので、SLカートライセンス所持者なら、SLシリーズ戦に出場しているSストックカートで参加できます。

3月15日の茨城県・筑波サーキットを皮切りに全国5カ所のサーキットで14レースが開催される『フォーミュラ・ヤマハ100』。どうぞ、新しいレーシング・カートのダイゴ味をお店のお客さまにもご紹介ください。

※フォーミュラ・ヤマハ100について詳しくは、最寄りのヤマハ販売会社カート担当宛お問合わせください。



クーターが行なっています。店頭での放映によって、限定解除への

チャレンジ意欲を喚起し、同時に正しいライディングを習慣づけるとともに、実際に限定解除受験ユーザーへの貸出し、希望ユーザーへの斡旋等、幅広くご利用いただくために、販売店さんへの斡旋は3本1セットで行なっています。春のスポーツバイク・セールに、ぜひご利用ください。

▼販売店さま斡旋

- ①店頭放映用・1本・βまたはVHS
- ②ユーザー貸出し用・2本・β、VHS各1本

※詳細は、最寄りのヤマハ販売会社・普及課宛お問合わせください。



フォーミュラヤマハ100サーキットカートレース

内容	四輪サーキットで行うカートレース	
格 式	第2種競技	
車 輛	ヤマハフレーム、KT100Sエンジン(ストック)、クラッチ付、カウリング装置、SLタイヤ	
参加資格	3回以上のSLまたはJAFレース出場経験者。SLライセンス所持者。	
会 場	北海道スピードパーク	5/31
日 時	スポーツランドSUGO	6/14、7/26、8/2、9/20、11/8
	筑波サーキット	3/15、11/15
	富士スピードウェイ	8/2
	中山サーキット	3/29、5/3、7/19、8/30、11/15



「クラブを通じて、バイクライフを充実させ、長く乗りつづけたいですね」

■ 藤本トハウスリパティール / 栗本清社長（横浜市港北区日吉3-2-13）



みどりさんのオリジナル手編みセーターは愛車セーロー225のイラスト入り。こんな女性らしい演出も、お客さまの人気のマツ

お店の2階に通じるラセン階段も、2階のラウンジスペースも、すべてお客さまの手づくりのおかげというモトハウスリパティールさんは、昨年12月に満4歳を迎えたばかりの新しいシヨップ。その名前のとおり、自由で開放的なお客さまの交流スペースとして人気を集めています。

そして昨年6月から本格的にスタートしているのが「チームリパティール」を主体としたクラブ活動。通称クリさんこと栗本社長のリーダーシップのもと、エンデューロ、ミニバイクレースをはじめYESSS催事にも参加してきましたが、2月8日にはクラブ初の試みとしてミニYRS（ヤマハ東京主催）も体験しました。

初体験のミニYRS

「異常暖冬」のこの日、会場の平塚市・荒井自動車学校花水校には、従業員の末広みどりさん他3名の女性ライダーを含めて14名のクラブ員が集合。愛車を駆ってミニYRSに意欲的に取り組んでいました。

チームリパティール

発足 '86年5月
会員 20代が中心で約25名
(女性約10名)

YESS会員 約50名
活動 発足したばかりのまだ若いクラブにもかかわらずこれまで、エンデューロレースへの参加を中心に、ミニバイクレースやヤマハ主催のイベントにも参加活躍。今年にはさらに充実したクラブイベントを目指し、より積極的な参加を予定すでに春の八ヶ岳ツーリング、夏の上高地ツーリングも企画して、キャンプ生活を楽しむプランもある。

午前中の課題走行では四苦八苦していたクラブ員ですが、午後からの応用走行では周囲を重ねることにスピードアップ。走る順序が入れ替り、栗本社長もいつの間にかクラブ員を追いあげて先頭へ。インストラクターにピタリとつけてランデブー走行を見せています。「クリさん頑張ってる！」と女性クラブ員の声援。クランクからS字、アウトからインへと増々スピードをアップ。S字からの立ちあがり、パワー余ったクリさんは軽くウイリーを見せるほどの頑張りよう。

さて、今度はクラス交替、マシンを降りたクリさんが、女性クラブ員に声を掛ける番。「ここでどンドン転べよ！ 転んだら軽トラック呼んであげるから、頑張らなきゃダメだ！」でも最後には、「コケんなよ！」とひと声大きく声援を送っていました。

そして、マシンを降りての参加したクラブ員の第一声は……
「快カーン」「最高」「下手なサーキットランよりおもしろい」「もう病みつきになりそう……」

チームを率いる栗田社長とお店の人気者、未広みどりさん(右)



この日は、みどりさん以外にも3名の女性クラブ員も参加

クリさんの人柄に集まるクラブ員

「最近、遠乗りにも慣れてきて自信がついたところを、ガッーンと打ちのめされた」というわけです。

どこからともなく「今度は、レバーからチェンジペダルまで一式積み込んで参加しようヨ」(笑) という声も……。

そんなわけですが、そもそも今回の企画、クラブ員そろってのミニYRS参加は、みどりさんが昨年10月女性のお客さまとふたりでミニYRSに初参加したのがきっかけとなつたもの。

「汗をかいてバイクに乗ったという感じがとても気持ち良かった」という当時の彼女の強烈な印象は、その後限定解除への挑戦にもつながり、これに彼女は見事9回目で合格。お店でも話題を一身に集め、そんな中から今回のミニYRSにも大勢のクラブ員が顔を揃えたというわけです。

「クラブに参加してバイクに対する感覚の幅を広げて欲しいんです。中途半端に乗り捨てるんじゃなく、できるだけ充実したバイクライフを楽しんでもらいたい。そして、もっと乗る期間をのばしてもらいたい」とは、クリさんの語るクラブ活動の「意義」ですが、今回のミニYRS参加には、加えてこんな意味も――

「若い人達は、限界までバイクを倒してステップをこすっているでしょう。僕なんか信じがたいですね。危険なほど過激に走っている人もいます。そういうのは危険なんだよって知らせてあげるのが、ショップの役目だと思っ

ているんです」
しかし、クラブ員が自然と集まってくれるわけではありません。イベントに誘い出すに



今回のミニYRSには、チームリパティールさんからの14名を含め28名のスポーツユーザーが参加

は、本当に苦勞しますよ」というのが、実はクリさんの本音。

そんな話を耳にしたクラブ員は「強制的というか、店からの要望が強いというか(笑)」
「それでもみんな集まるのは、クリさんの人柄ですね、やっぱり」と。そんなチームリパティールさんですが、今年もMFJへのクラブ登録も予定。今後の活躍が楽しみです。

実を結ぶ長年の販売努力

アフターフォローで

お客さまを固定化

YOU SHOP・レジャーショップ松野 松野 昭社長

●愛知県碧南市山神町2-25 0566(41) 0208

「お客さまの固定化」これからのご商売のポイントとして最近とみに強調されている言葉ですが、いざそれを実行すると、長年にわたる地道な努力が必要となってきます。今回はそんな活動をしっかりと継続し、お客さまの間に確実にお店のイメージを築きあげている「レジャーショップ松野」さんをお訪ねしました。

●ユーザーショップとなつてリフレッシュした3代目の老舗

名古屋市の中心から南へ40kmの碧南市。ここは三河湾を目前にし、地場産業の瓦から自動車メーカーの最大手・トヨタの関連企業などが数多く集まる工業地帯です。

「レジャーショップ松野」さんはこの街のほぼ中心に48坪の店舗を構え、半径約4kmという商圏を中心に、売上げの8割がスクーターというご商売を展開されています。

「祖父の代に自転車店として商売をはじめ、私の代になって本格的にバイク販売に取り組みようになったんです。バイクを扱うようになって20年ほど経ちますが、併売の時期が長かったことからスポーツバイクよりもスクーター店としてのイメージがお客さんに定着しているんですね。スクーター客の中心は30代以上のアドルトが7割と多く、なんとかヤングユーザーも呼び込める店づくりをしたいと思います。昨年3月に店舗を改装し、「ユーザーショップ」としてイメージも新たに再スタートをしたわけです。工場が多い場所柄、

若い人たちの流入はたくさんあるのですからね」

●20年も続く

無料点検サービス

しっかりと地域に根を下ろし、長年のご商売で培ったお客さまとの信頼関係の維持、それにプラスして新たに流入してくるヤングユーザーの獲得。ユーザーショップとしての再スタートとともに、ますます意欲的にご商売に取り組み松野社長ですが、まずは既存ユーザーの確保と代替促進の具体的な手法からうかがってみました。

「最近のスクーターユーザーをみてみると、男性アドルトは4輪車との使い分けが完全に定着し、逆に主婦層は軽四などが行きわたったことで本当にスクーターを必要としている人だけが残った。さらにヤングも、単なる遊びの足ではなく、通学や通勤、買物などの実用性を考えたうえで、の効用性の高さを評価しているようです。」

「このような人たちにとっては、スクーターは決して一過的な乗り物ではなく、2台目、3台目と代替していく必要性が



「DMの効果を上げるのは的を絞ったメッセージ」と顧客ノートを前に計画を練る松野社長と奥さま・美智子さん。左は担当の稲垣セールス

高いわけですが、その時選ぶ販売店となると、必ずしも1台目を買った店を選んでもくれる保証はありませんからね。販売後のフォローが一番大切になる。このためにうちでは、毎年春と秋の2回、「無料点検」を行なっています。

これは私が商売を始めたときから行なっているもので、もう20年も続いているんですが、おかげでお客様の方から「今年はいつありますか？」なんて問い合わせがあるくらいに定着しているんです」

「無料点検」に持込まれるスクーターは50台から60台。営業所のサービススタッフは50名、各台に1名ずつのスタッフが対応していますが、これだけではもちろん代替まで結びつきません。

「この点検で持ち込まれたスクーターは、そのときの走行距離、各部の具合、修理箇所などをチェックし、顧客管理ノートに記入しておきます。こうすれば、時期がきて代替をすすめるときも具体的なデータをお客さんに示すことができ、話がスムーズにまとまりますし、バイクの状態を把握していることで信頼も得られる。」

●DM活用で親密なマンツーマンDM活用で親密なマンツーマン

もちろん、この他にも新車や用品の案内を定期的に送るなどして多方面からのフォローも怠りません。さて、もうひとつの目標であるヤングユーザーの獲得は、「ここ5年ほど続けているのですが、春先に高校の卒業生を対象にしてDMを打っています。即効果というのではありませんが、夏頃まではこのDMをキッカケに来店するお客さんがつづき、少ない年で500枚のDMで2割ほどが実販に結びついていますよ。」

卒業してすぐに購入するというのではなく、大学生や社会人になって、新生活が一段落した頃になって購入する人が多いようです。夏休みに実家に帰ってきたからと、来店する人もいたりして、仙台や金沢にトラック便で納車したこともありました」と、着実に新規ユーザーを増やしつづけています。

そしてこのDMについて松野社長は「

NEW TEAM YAMAHA シリーズ

新発売

ヤマハレーシングチームのサーキット・コスチュームを再現したライダーズウェアとして人気の高い「チーム・ヤマハ」シリーズが2年ぶりにフルチェンジ、'87シーズンの開幕にあわせて3月下旬より新登場します。

新しいチーム・ヤマハシリーズは、全24アイテム

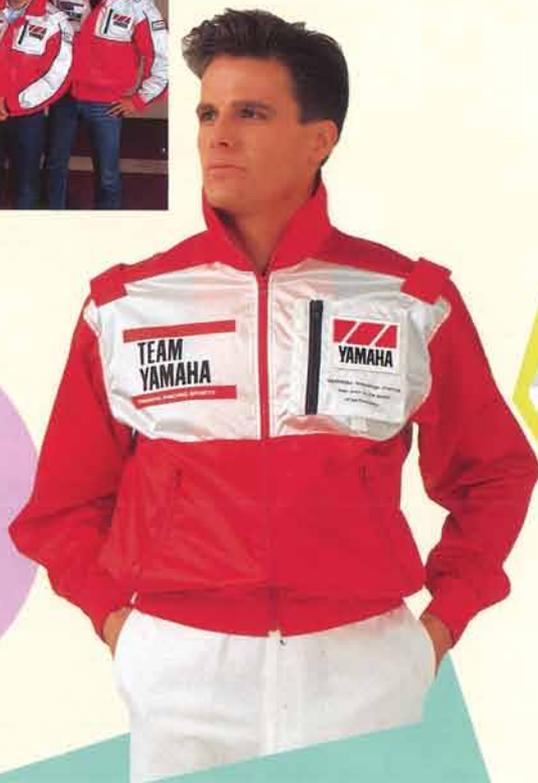
ム。いずれもデザインやカラーばかりでなく、素材や機能性に至るまでヤマハレーシングチーム・コスチュームをそのまま再現しているのが特徴です。

3クラスそろったFZRシリーズを中心とする春のスポーツバイク商戦の一環として、お店でもどうぞ積極的な販売活動をご展開ください。



TY-104 ビットフルージャケット

- 標準価格：¥12,000
- カラー：ホワイト ●サイズ：M、L、LL
- 素材：ポリエステル100%、ウレタンコーティング(シャモニー)



AT-110 メッシュキャップ

- 標準価格：¥2,300
- カラー：レッド、ブルー、ホワイト
- 素材：ポリエステル100%



TY-103 スプリング&サマーブルゾン

- 標準価格：¥8,800
- カラー：レッド/ホワイト、ブルー/ホワイト
- サイズ：M、L、LL ●素材：ナイロン100%



TY-606 Tシャツ

- 標準価格：¥2,800
- カラー：レッド/ホワイト、ブルー/ホワイト
- サイズ：M、L ●素材：綿70%、ポリエステル30%(ハイローカス)



BOLT ON ACCESSORIES

FZR750

走りはもちろんスタイルもデザインもレーシーな雰囲気いっぱいのFZR750。専用アクセサリも、表面に取付け金具がまったく出ないシートカウルをはじめ、タンデムや荷物の固定に便利なクラブバー、そしてリヤアームでしっかりと固定するレーシングスタンドと機能的なアイテムばかりです。



シートカウル
●ホワイト/ブルー



クラブバー



レーシングスタンド

ご活用ください！ 「'86~'87ボルトオン& メンテナンスカタログ」

'86年~'87年に発売されたモデルのアクセサリ用品とメンテナンス用品のすべてを一冊にまとめたボルトオン&メンテナンスカタログ。オイル、プラグ、バッテリーの適用車種一覧表も掲載した便利なカタログです。お店に1冊、必ず常備され、毎日の販売活動にご活用ください。



●標準価格
¥2,800

XV400 ビラーゴ

ニューエイジ・クルーザーXV400のアクセサリは、クロームメッキ仕上げのエンジンガードとアルミ・グリップにパッド付背もたれのシーシーバーの2アイテム。



エンジンガード



シーシーバー

ハンダごて、ヒーターガン、バーナー 1丁3役 コテライザー

1丁でハンダごてにも、ヒーターガンにもさらにバーナーにも使える便利なマルチパーパスツール、その名も「コテライザー」です。ライターなどに使われているブタンガスを燃料としているために電気は不要で、屋外、車外、高所……どこでも使えるのも特徴。

とくに金属以外の加熱、溶解、切断、接着加工に威力を発揮するヒーターガンやサビついたナットをゆるめるのに欠かせないバーナーの機能は、販売店さんでも利用機会の多いものでしょう。お店にもどうぞ1本お備えください。

●標準価格：11,800円



フッ素樹脂配合のホワイトグリス ME-CL 新発売！



●標準価格：2,000円

ヤマハ純正のホワイトグリス「チェーン・グループ」ME-CLです。フッ素樹脂の微粒子がすぐれた潤滑効果を長期間にわたって発揮、耐摩耗性を飛躍的に向上させます。幅広いお客さまに、どうぞおすすめください。

TY-602 スウェットシャツ

- 標準価格：¥6,800
- カラー：レッド/ホワイト、ブルー/ホワイト
- サイズ：M、L ●素材：綿75%、ポリエステル25%



AT-108 ステッカーセット

- 標準価格：¥600

